

厚生労働行政推進調査事業費補助金
免疫・アレルギー疾患政策研究事業

我が国の関節リウマチ診療の標準化に関する
臨床疫学研究

平成 30 年度～令和 2 年度 総合研究報告書

研究代表者

針 谷 正 祥

令和 3 年 (2021 年) 3 月

目 次

| | |
|----------------------------------|---|
| I. 総合研究報告 | |
| 我が国の関節リウマチ診療の標準化に関する臨床疫学研究 ----- | 1 |
| 針谷 正祥（東京女子医科大学医学部膠原病リウマチ内科学講座） | |
| II. 研究成果の刊行に関する一覧表----- | 9 |

令和2年度厚生労働行政推進調査事業費補助金（免疫・アレルギー疾患政策研究事業）

「我が国の関節リウマチ診療の標準化に関する臨床疫学研究」（H30-免疫-指定-002）

総合研究報告書

| | | |
|-------|-------|--------------------------------------|
| 研究代表者 | 針谷 正祥 | 東京女子医科大学 医学部 教授 |
| 研究分担者 | 伊藤 宣 | 京都大学・大学院医学研究科 特定教授 |
| | 井上 永介 | 昭和大学・統括研究推進センター 教授（員外） |
| | 金子 祐子 | 慶應義塾大学・医学部 准教授 |
| | 川人 豊 | 京都府立医科大学・医学研究科 准教授 |
| | 岸本 暢将 | 杏林大学・医学部 准教授 |
| | 河野 正孝 | 京都府立医科大学・医学研究科 講師 |
| | 小嶋 俊久 | 名古屋大学大学院医学系研究科 准教授 |
| | 小嶋 雅代 | 国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター フレイル研究部長 |
| | 齋藤 和義 | 産業医科大学・医学部 非常勤医師 臨床教授 |
| | 酒井 良子 | 東京女子医科大学・医学部 非常勤講師 |
| | 杉原 毅彦 | 国立大学法人東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 非常勤講師 |
| | 鈴木 康夫 | 東海大学・医学部 特任教授 |
| | 瀬戸 洋平 | 東京女子医科大学・医学部 准教授 |
| | 田中 榮一 | 東京女子医科大学・医学部 准教授 |
| | 田中 真生 | 京都大学・大学院医学研究科 特定准教授 |
| | 中島亜矢子 | 三重大学・医学部附属病院 教授 |
| | 中野 和久 | 産業医科大学・医学部 講師 |
| | 中山 健夫 | 京都大学・大学院医学研究科 教授 |
| | 西田圭一郎 | 岡山大学・大学院医歯薬学総合研究科 准教授 |
| | 平田信太郎 | 広島大学病院 准教授 |
| | 藤井 隆夫 | 和歌山県立医科大学・医学部 教授 |
| | 松下 功 | 金沢医科大学・医学部 特任教授 |
| | 村島 温子 | 国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター 主任副センター長 |
| | 森信 暁雄 | 京都大学・大学院医学研究科 教授 |
| | 森 雅亮 | 東京医科歯科大学・大学院医歯学総合研究科 寄附講座教授 |

研究要旨（以下 MS 明朝 10.5 ポイント使用）

【研究目的】本研究は、わが国の RA 診療の現状と問題点を解析し、日本リウマチ学会（JCR）が 2014 年に発表した RA 診療ガイドラインの改訂を通じて、今後のリウマチ対策および RA 患者の QOL 向上に寄与することを目的とする。【方法】3つの分科会を設置し、JCR と連携しつつ研究を遂行した。RA 疫学研究分科会では、登録患者の年齢構成に偏りのないナショナルデータベース（JNDB）を用いて、超高齢社会のわが国における RA 患者の有病率・人口統計学的特性・治療実態・合併症等とそれらの地域的分布、専門施設（専門医が勤務もしくは日本リウマチ学会の教育認定施設）の受診状況別、及び都道府県別の RA 治療薬処方実態を検討し、その結果を RA 診療ガイドライン分科会に提供した。RA 関連リンパ増殖性疾患分科会では①国内から報告された関節リウマチ（RA）治療中に発症するリンパ増殖性疾患（RA 関連 LPD）86 例 ②JCR 委員会で行われた『関節リウマチ患者におけるリンパ増殖性疾患に関する研究（JCR-RA-LPD 研究）』に登録された 10,838 例（うち解析対象 9,815 例）、③日本リウマチ学会・日本血液学会・日本病理学会 3 学会合同ワーキンググループの JCR 施設で行った『関節リウマチ治療経過中に発生するリンパ増殖性疾患/リンパ腫の臨床・病理学的特性に関する後方視的多施設共同研究（LPD-WG study）』で収集された 232 例、を対象に、RA 関連 LPD の発症率、臨床病理学的特徴、経過と予後、LPD 発症後の RA 治療について検討した。RA 診療ガイドライン分科会では、RA 診療ガイドライン 2014 作成以降の文献を中心に systematic review を行い、GRADE（Grading of Recommendations, Assessment, Development and Evaluation）法に準拠して、関節リウマチ診療ガイドラインの推奨文、解説文、エビデンスプロファイルを作成した。また、作成された推奨から、薬物治療、非薬物治療・外科的治療のアルゴリズムを作成した。患者の意見をエビデンスとして反映させることを目的として自記式アンケート調査を実施した。これらの成果を統合して、関節リウマチ診療ガイドライン 2020 を編集した。【結果】RA 疫学研究分科会はナショナルデータベース（JNDB）を解析し、日本の RA 患者数を 82.57 万人と推計し、有病割合 0.65%と算出した。女性は 69,831 例 76.3%、男女比 1:3.21 であった。令和 2 年度の研究では、専門施設の受診状況別、及び都道府県別の RA 治療薬処方実態を検討し、専門施設と非専門施設間のリウマチ診療の違い、大都市圏とそれ以外の地域間の診療格差を明らかにした。2017 年度に専門施設受診を一度もしなかった患者割合が全国の平均の 10%以上高い県は 12 県、約 25%であり、いずれも非大都市圏であった。生物学的製剤は専門施設のみ受診した例では一度も受診がなかった例より処方割合は高かった。RA 関連リンパ増殖性疾患分科会の解析では、JCR-RA-LPD 研究でリンパ腫の標準化罹患比（SIR）は 5.99（4.30-7.68）で、高齢と MTX 治療が LPD の有意な危険因子として抽出された。3つのデータベースにおける発症平均年齢は 67-68 歳、女性例が 66-77%、RA 罹病期間は 11-12 年であった。LPD 発症時の RA 治療薬の検討では、MTX が 80-90%に使用されており、生物学的製剤使用例が 16-23%みられた。MTX の平均投与量は約週 8mg、投与期間は中央値で週 6mg 前後、累積投与量は中央値で 2000mg 前後であった。LPD-WG study では、病理学的にはびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫（DLBCL）が多く 41%を占めた。免疫不全と関連する EBV 陽性皮膚粘膜潰瘍や Hodgkin 様病変などの多形性 LPD もみられた。生命予後については、5 年生存率は自然退縮群 91.5%、化学療法群 67.2%で、再発例は 19%みられ、2 年以内が 2/3 をしめた。RA 診療ガイドライン分科会は各クリニカルクエスションの担当者が作成したエビデンスプロファイルを踏まえて患者代表を交えたガイドラインパネル会議で討議し、55 の推奨文とその推奨の強さ、同意度を決定

した。令和2度には55の推奨文を修正し、最終的な推奨の強さ・同意度を決定した。患者の意見をエビデンスとして反映させることを目的として自記式アンケート調査を実施した。関節リウマチ診療ガイドライン改訂案は日本リウマチ学会で承認され、「関節リウマチ診療ガイドライン2020」が発行された。【考察】関節リウマチ診療ガイドライン2020の普及を通じて、わが国の関節リウマチ診療水準がさらに向上し、均てん化が進むことが期待される。

A. 研究目的

RAの治療にメトトレキサート(MTX)および生物学的製剤が上市され、RAの治療目標と目標達成のための治療戦略が明確化されたことによって、その治療成績は著明に改善した。厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等克服研究事業「我が国における関節リウマチ治療の標準化に関する多層的研究」(平成23-25年度、研究代表者 宮坂信之)において関節リウマチ診療ガイドライン2014が作成され、一般社団法人日本リウマチ学会(JCR)から公表された。さらに「我が国の関節リウマチ診療標準化のための研究」(平成26-28年度、研究代表者 宮坂信之)において「関節リウマチ診療ガイドライン JCR2014に基づく一般医向け診療ガイドライン」が作成され、JCRから公表された。

2014年の上記ガイドライン発表以降、わが国ではバイオシミラーを含む新たな生物学的製剤、ヤヌスキナーゼ阻害薬等が上市され、MTX・生物学的製剤の使用頻度が増加し、診療実態が大きく変わりつつある。また、関節リウマチ診療に携わる中小病院、診療所が増加し、それらの医療機関で診療を受けるRA患者が増えつつある。一方、MTX使用頻度の増加に伴って、中・長期的重篤有害事象として、リンパ増殖性疾患が注目されるようになった。

診療ガイドラインはエビデンスおよび診療環境の進歩に伴い定期的な改訂が求められており、欧米では近年、RA診療ガイドラインが改訂された。診療ガイドラインの改訂には2-3年の時間を要するため、わが国においても2018年度から

本研究でその改訂に着手した。本研究では3つの分科会を設置し、JCRと連携しつつ研究を遂行する。RA疫学研究分科会においてRAの診療実態を解析し、RA関連リンパ増殖性疾患分科会においてRA患者におけるリンパ増殖性疾患(LPD)を臨床疫学的に検討し、RA診療ガイドライン分科会において、systematic reviewと両分科会の成績を踏まえて、関節リウマチ診療ガイドライン2020を作成する。

本研究はわが国の関節リウマチ(RA)診療の現状と問題点を解析し、わが国のRA診療ガイドラインの改訂を通じて、今後のリウマチ対策の改訂およびRA患者のQOL向上に寄与することを目的とする。

B. 研究方法

1. RA疫学研究分科会: National Database(JNDB)の2017年度のデータから、RAに関わる診断名ICD-10コード(M050-M053、M058-M060、M062-M063、M068-M069、M080、M083-M084、M088-M089)を1度でも有した16歳以上のデータ取得し、RA人口の推定と有病割合を検討した。ついで、(1)2017年4月から2018年3月までの間に、(2)RA診断に関するICD-10コードを有し、(3)16歳以上で、(4)RA治療の疾患修飾性抗リウマチ薬(disease-modifying antirheumatic drugs、以下DMARDs)を2処方月以上有した条件で定義したRAをJNDBから抽出し、RA患者の年齢分布と年齢別推定RA患者数、有病割合の算出、リウマチ治療薬の処方現況、都道府県別の有病割合、受診医療施設の規模およびリウマチ専門施設か否か、RA

の合併病態、手術専門施設受診状況別診療実態、都道府県別診療実態、都道府県別専門施設受診状況別の診療実態を検討した。

2. RA 関連リンパ増殖性疾患分科会：国内から報告された関節リウマチ(RA)治療中に発症するリンパ増殖性疾患(RA 関連 LPD) 86 例の集積研究、『関節リウマチ患者におけるリンパ増殖性疾患に関する研究(JCR-RA-LPD 研究)』および『関節リウマチ治療経過中に発生するリンパ増殖性疾患/リンパ腫の臨床・病理学的特性に関する後方視的多施設共同研究(LPD-WG study)』を実施し、①LPD 発生率、RA 発症あるいは免疫抑制薬開始から LPD 発症までの期間、②LPD 発症間に先行する徴候、検査異常、③LPD の臨床病理学的特徴、④LPD 発症後の経過、退縮率と生命予後、再発率と再発例の特徴、⑤LPD 退縮/寛解後の RA 治療の最適化、について検討した。

3. RA 診療ガイドライン分科会：GRADE(Grading of Recommendations, Assessment, Development and Evaluation)法に沿い、systematic review を実施し、エビデンスプロファイルを作成した。患者の意見をエビデンスとして反映させることを目的として自記式アンケート調査を実施した。調査対象者は 20 歳以上の日本リウマチ友の会 1,600 名とした。パネル会議で 55 の推奨を作成し、推奨の強さと同意度を決定した。推奨を反映させた治療アルゴリズムを作成した。

4. 各分科会の研究結果を反映させた関節リウマチ診療ガイドラインの編集作業を実施した。パブリックコメントを募集し、2021 年 1 月に公益財団法人日本医療機能評価機構 EBM 普及推進事業(Minds)による Appraisal of Guidelines for Research & Evaluation AGR EE) II の公開前評価を受けた。

(倫理面への配慮)

JNDB の解析では、厚生労働省の規定により、東京女子医科大学の倫理審査委員会の承認を得て

実施した(承認番号 4838)。本研究では、すでに匿名化されたデータを用いるため、個人情報等に関する倫理面での配慮の必要は無い。

RA 患者における LPD の疫学研究では、各参加施設の倫理委員会の承認を受けて施行した。

RA 診療ガイドライン改訂は、既存のエビデンスに基づいて診療ガイドラインを作成し、新たな臨床試験・研究は実施していないため、倫理面での配慮の必要はない。

C. 研究結果

1. RA 疫学研究分科会：RA に関連した ICD-10 を有したのは 1,116,122 例であった。複数の定義を設定して検討した結果、日本の診療状況を鑑みて、「いずれかの DMARDs の処方が実施されたのが 2 月以上あった例」を RA とするのが妥当と考え、日本の RA 人患者数を 82.57 万人、有病割合 0.65%と算出した。女性は 69,831 例 76.3%、男女比 1:3.21 であった。専門施設受診が 1 度もない患者の割合は 31.8%、専門施設のみ受診した患者の割合は 51.9%であった。2017 年度に専門施設を受診が一度もない患者割合が全国平均よりも 10%以上高いのは 12 県(岩手、秋田、山形、茨城、富山、石川、福井、山梨、三重、島根、高知、佐賀)で 4 分の 1 の都道府県であった。東京、神奈川では専門施設を一度も受診しなかった割合が最も低かった。専門施設受診が一度も無い例と専門施設のみ受診した例での処方割合のみの比較では、MTX では専門施設のみ受診と非専門施設のみ受診の差が少なかったのに対し、bDMARDs の処方割合は、非専門施設のみ受診患者では専門施設のみ受診の患者より少なかった。これらの結果を関節リウマチ診療ガイドライン 2020 の第 4 章に「わが国における関節リウマチ診療の現状」として掲載した。

2. RA 関連リンパ増殖性疾患分科会：JCR-RA-LPD study における病理学的に診断されたり

リンパ腫の標準化罹患比 (SIR) は 5.99 [4.30-7.68] と、IORRA, SECURE, NinJa などの国内の代表的 RA レジストリの結果と同程度であった。LPD 発症リスクを検討した結果、年齢 MTX 治療が有意な危険因子であった。3つの研究から、LPD 患者の年齢は 67-68 歳 (中央値) で女性が 70-80% をしめた。RA 罹病期間、MTX 投与期間は 6-7 年と、罹病期間、MTX 投与期間とも長かった。病理組織では、びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫 (DLBCL) が最も多く、全体の 40% 以上を占め、次いで古典的 Hodgkin リンパ腫 (CHL) が多かった。LPD-WG study において、MTX 投与例 216 例中、144 例 (66.7%) が MTX 中止後、自然退縮 (完全退縮、部分退縮) した。SR 群の時間的経過を見ると、部分退縮を含め、93% が MTX 中止後 2 週目に退縮が始まっていた。LPD-WG study における 5 年生存率は、78.2% と、比較的予後良好で会った。臨床経過別にみると、化学療法が必要となった症例では予後不良であり、病理組織ではホジキンリンパ腫 (CHL) の予後が不良であった。SR 群の relapse-free survival (無再発生存期間) は、2 年目 85.8%、5 年目 75.1% と再発率は低い。RA 治療開始後再発に関わる因子を検討すると多変量解析では病理学的に CHL が唯一の再発因子であった。LPD 退縮後の生物学的製剤治療 1 年目、2 年目の継続率は、それぞれ 67.8%、59.1% であった。

これらの結果を関節リウマチ診療ガイドライン 2020 の第 4 章に「関節リウマチとリンパ増殖性疾患」として掲載した。

3. RA 診療ガイドライン分科会：各クリニカルクエスションの担当者が作成したエビデンスプロファイルを踏まえてパネル会議を開催し、55 の推奨文とその推奨の強さ、同意度を決定した。結果的にはすべての推奨で合意が得られた。外部評価後に、再度その強さ、エビデンスの確実性、同意度を決定した。推奨をもとに薬物治療、非薬

物治療・外科的治療のアルゴリズムを作成した。患者アンケートの調査期間中に 1,156 通の返送があり、回答率は 71.6% であった。アンケート結果を、関節リウマチ診療ガイドライン 2020 の第 4 章に「本ガイドライン作成のための患者の価値観の評価～患者アンケート調査～」として掲載した。推奨と治療のアルゴリズム及び解説文について日本リウマチ学会、日本小児リウマチ学会、日本整形外科学会、日本リハビリテーション学会にパブリックコメントを依頼し、寄せられたコメントに対して対応し、一部修正した。また、公益財団法人日本医療評価機構 EBM 普及推進事業 (Minds) 1) による Appraisal of Guidelines for Research & Evaluation (AGREE) II の公開前評価を受けて、対応した。

ライフイベントに対応したガイドラインとしての役割を考慮し、第 4 章に「今日の関節リウマチ治療における患者教育」、「関節リウマチ治療における医療経済評価」、「関節リウマチ治療と妊娠・出産」、「関節型若年性特発性関節炎の成人移行期診療」を、それぞれ掲載した。

4. 関節リウマチ診療ガイドラインの編集：各分科会の研究成果を反映させた関節リウマチ診療ガイドラインの編集を、研究代表者と川人豊分科会長が中心となって進め、各章の原稿の確認・校正を実施した。関節リウマチ診療ガイドライン改訂案を日本リウマチ学会に提出し、同学会理事会で承認され、「関節リウマチ診療ガイドライン 2020」が診断と治療社から発行された。

D. 考察

各分科会における研究は順調に進み、年度内に所定の成果を挙げることが出来た。RA 疫学研究分科会で実施した National Database (JNDB) を用いた RA の診療実態解析結果の詳細は、英文論文として発表され、その概要は関節リウマチ診療ガイドライン 2020 に掲載された。今後の RA に

対する医療政策立案の基盤となることが想定される。

RA 関連リンパ増殖性疾患分科会で実施した RA 患者における LPD の疫学研究の成果も英文論文として発表され、その概要は関節リウマチ診療ガイドライン 2020 に掲載された。これらの研究成果は、日本血液学会、日本病理学会と日本リウマチ学会が合同で作成中の診療の手引きに反映される予定である。

RA 診療ガイドライン分科会で作成した治療アルゴリズムは海外のガイドラインとの整合性をとりつつ、日本の診療環境を反映した日本独自のアルゴリズムである。公益財団法人日本医療機能評価機構 EBM 普及推進事業 (Minds) による Appraisal of Guidelines for Research & Evaluation AGR EE) II の公開前評価において、23 項目中 15 項目は 6 点以上、6 項目は 5 点以上、2 項目が 4.75 と概ね高い評価が得られており、今回の改訂作業の質の高さが確認された。RA 診療ガイドライン分科会で実施した systematic review、患者アンケート調査結果が英文論文として発表されたので、今後の研究でも引用されることが期待できる。

E. 結論

本ガイドラインの普及を通じて、わが国の関節リウマチ診療水準の均てん化と、さらなる向上を目指す。本ガイドラインの記載に基づいて、モニタリング・監査を実施し、今後のガイドラインの改訂に反映させる取り組みが必要である。

F. 健康危険情報

(分担研究報告書には記入せずに、総括研究報告書にまとめて記入)

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

1) Nakajima A, Sakai R, Inoue E, Harigai M. Prevalence of patients with rheumatoid arthritis and age-stratified trends in clinical characteristics and treatment, based on the National Database of Health Insurance Claims and Specific Health Checkups of Japan. *Int J Rheum Dis.* 2020 Dec;23(12):1676-1684.

2) Nakajima A, Sakai R, Inoue E, Harigai M. Geographic variations in rheumatoid arthritis treatment in Japan: A nationwide retrospective study using the national database of health insurance claims and specific health checkups of Japan. *Mod Rheumatol.* 2021 Apr 15:1-9. doi: 10.1080/14397595.2021.1910615. Epub ahead of print.

3) Takada H, Kaneko Y, Nakano K, Tanaka M, Fujii T, Saito K, Sugimoto N, Sasaki S, Saito S, Saito R, Kuramoto N, Harigai M, Suzuki Y. Clinicopathological characteristics of lymphoproliferative disorders in 232 patients with rheumatoid arthritis in Japan: A retrospective, multicenter, descriptive study. *Mod Rheumatol.* 2021 Apr 6:1-9. doi: 10.1080/14397595.2021.1899570. Epub ahead of print.

4) Kuramoto N, Saito S, Fujii T, Kaneko Y, Saito R, Tanaka M, Takada H, Nakano K, Saito K, Sugimoto N, Sasaki S, Harigai M, Suzuki Y. Characteristics of rheumatoid arthritis with immunodeficiency-associated lymphoproliferative disorders to regress spontaneously by the withdrawal of methotrexate and their clinical course: A retrospective, multicenter, case-control

- study. *Mod Rheumatol.* 2021 Mar 8:1-16. doi: 10.1080/14397595.2021.1879362. Epub ahead of print.
- 5) Saito R, Tanaka M, Ito H, Kuramoto N, Fujii T, Saito S, Kaneko Y, Nakano K, Saito K, Takada H, Sugimoto N, Sasaki S, Harigai M, Suzuki Y. Overall survival and post-spontaneous regression relapse-free survival of patients with lymphoproliferative disorders associated with rheumatoid arthritis: a multi-center retrospective cohort study. *Mod Rheumatol.* 2021 Feb 15:1-16. doi:10.1080/14397595.2020.1866837. Epub ahead of print.
- 6) Nakano K, Tanaka Y, Saito K, Kaneko Y, Saito S, Tanaka M, Saito R, Fujii T, Kuramoto N, Sugimoto N, Takada H, Harigai M, Sasaki S, Suzuki Y. Treatment of rheumatoid arthritis after regression of lymphoproliferative disorders in patients treated with methotrexate: a retrospective, multi-center descriptive study. *Mod Rheumatol.* 2020 Dec 7:1-14. doi: 10.1080/14397595.2020.1847775. Epub ahead of print.
- 7) Honda S, Sakai R, Inoue E, Majima M, Konda N, Takada H, Kihara M, Yajima N, Nanki T, Yamamoto K, Takeuchi T, Harigai M. Association of methotrexate use and lymphoproliferative disorder in patients with rheumatoid arthritis: Results from a Japanese multi-institutional retrospective study. *Mod Rheumatol.* 2021 Mar 1:1-14. doi: 10.1080/14397595.2020.1869370. Epub ahead of print.
- 8) Sugihara T, Kawahito Y, Morinobu A, Kaneko Y, Seto Y, Kojima T, Ito H, Kohno M, Nakayama T, Sobue Y, Nishida K, Matsushita I, Murashima A, Mori M, Tanaka E, Hirata S, Kishimoto M, Yamanaka H, Kojima M, Harigai M. Systematic review for the treatment of older rheumatoid arthritis patients informing the 2020 update of the Japan college of rheumatology clinical practice guidelines for the management of rheumatoid arthritis. *Mod Rheumatol.* 2021 Apr 14:1-22. doi:10.1080/14397595.2021.1912922. Epub ahead of print.
- 9) Kojima M, Hasegawa M, Hirata S, Ito H, Kaneko Y, Kishimoto M, Kohno M, Kojima T, Matsushita I, Mori M, Morinobu A, Murashima A, Nishida K, Seto Y, Sobue Y, Sugihara T, Tanaka E, Nakayama T, Kawahito Y, Harigai M. Patients' perspectives of rheumatoid arthritis treatment: a questionnaire survey for the 2020 update of the Japan college of rheumatology clinical practice guidelines. *Mod Rheumatol.* 2021 Apr 15:1-15. doi: 10.1080/14397595.2021.1913276. Epub ahead of print.
- 10) Tanaka E, Kawahito Y, Kohno M, Hirata S, Kishimoto M, Kaneko Y, Tamai H, Seto Y, Morinobu A, Sugihara T, Murashima A, Kojima M, Mori M, Ito H, Kojima T, Sobue Y, Nishida K, Matsushita I, Nakayama T, Yamanaka H, Harigai M. Systematic review and meta-analysis of biosimilar for the treatment of rheumatoid arthritis informing the 2020 update of the Japan College of Rheumatology clinical practice guidelines for the management of rheumatoid arthritis. *Mod Rheumatol.* 2021 Apr 6:1-13. doi:

10.1080/14397595.2021.1899591. Epub ahead of print.

11) Sobue Y, Kojima T, Ito H, Nishida K, Matsushita I, Kaneko Y, Kishimoto M, Kohno M, Sugihara T, Seto Y, Tanaka E, Nakayama T, Hirata S, Murashima A, Morinobu A, Mori M, Kojima M, Kawahito Y, Harigai M. Does exercise therapy improve patient-reported outcomes in rheumatoid arthritis? A systematic review and meta-analysis for the update of the 2020 JCR guidelines for the management of rheumatoid arthritis. *Mod Rheumatol.* 2021 Feb 22:1-14. doi:10.1080/14397595.2021.1886653. Epub ahead of print.

12) Sobue Y, Kojima M, Kojima T, Ito H, Nishida K, Matsushita I, Hirata S, Kaneko Y, Kishimoto M, Kohno M, Murashima A, Morinobu A, Mori M, Nakayama T, Sugihara T, Seto Y, Tanaka E, Hasegawa M, Kawahito Y, Harigai M. Patient satisfaction with total joint replacement surgery for rheumatoid arthritis: a questionnaire survey for the 2020 update of the Japan college of rheumatology clinical practice guidelines. *Mod Rheumatol.* 2021 Mar 16:1-6. doi:10.1080/14397595.2021.1892258. Epub ahead of print.

13) Ito H, Murata K, Sobue Y, Kojima T, Nishida K, Matsushita I, Kawahito Y, Kojima M, Hirata S, Kaneko Y, Kishimoto M, Kohno M, Mori M, Morinobu A, Murashima A, Seto Y, Sugihara T, Tanaka E, Nakayama T, Harigai M. Comprehensive risk analysis of postoperative complications in patients with rheumatoid arthritis for the 2020 update of the Japan college of rheumatology

clinical practice guidelines for the management of rheumatoid arthritis. *Mod Rheumatol.* 2021 Apr 15:1-25. doi:10.1080/14397595.2021.1913824. Epub ahead of print.

2. 学会発表

各分科会の研究報告書を参照のこと

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定含む。）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

別添7

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

| 著者氏名 | 論文タイトル名 | 書籍全体の編集者名 | 書籍名 | 出版社名 | 出版地 | 出版年 | ページ |
|-----------------|---------------------------------------|----------------------------------|--|------------------------|-----|------|---------|
| 川人 豊 | NSAIDsによる胃腸障害と腎障害 | 宮坂信之 | リウマチ科 | 科学評論社 | 東京 | 2018 | 457-462 |
| 川人 豊、 河野 正孝 | ステロイド性骨粗鬆症に対するteriparatideの有用性. | 宮坂信之 | リウマチ科 | 科学評論社 | 東京 | 2018 | 609-616 |
| 和田 誠、 川人 豊 | 関節リウマチにおけるアダリムマブ | 宮坂信之 | リウマチ科 | 科学評論社 | 東京 | 2019 | 33-40 |
| 川人 豊 | 非ステロイド性抗炎症薬 | 川畑仁人 | リウマチ・膠原病治療薬ハンドブック | 文光堂 | 東京 | 2018 | 208-214 |
| 岸本 暢将、 岡田 正人 | 関節リウマチの診かた, 考えかたver. 3 | なし | 関節リウマチの診かた, 考えかたver. 3 | 中外医学社 | 東京 | 2018 | 単行本 |
| 中山 健夫 | 診療ガイドラインに関する基本知識 | 門脇 孝, 小室 一成, 宮地 良樹 (監修) | 日常診療に活かす診療ガイドラインUP-TO-DATE 2018-2019 - | 株式会社 メディカル レビュー社 | 東京 | 2018 | 10-15 |
| 西田圭一郎 | Q58. 関節リウマチの手術についてどのようなものがあるか教えてください. | 松野博明, 松原 司 | ズバッと答える関節リウマチ～患者さんからの85通の挑戦状～ | 日本医学出版 | 東京 | 2018 | 139-140 |
| 西田圭一郎 | Q59. 関節リウマチ手術のメリット、デメリットについて教えてください. | 松野博明, 松原 司 | ズバッと答える関節リウマチ～患者さんからの85通の挑戦状～ | 日本医学出版 | 東京 | 2018 | 141-142 |
| 西田圭一郎 | Q67. 関節リウマチの足関節障害の種類と手術方法について教えてください. | 松野博明, 松原 司 | ズバッと答える関節リウマチ～患者さんからの85通の挑戦状～ | 日本医学出版 | 東京 | 2018 | 165-167 |

| | | | | | | | |
|--------------|--|----------------|---|----------------|----|---------------|-------------------------------------|
| 西田圭一郎 | Q68. 関節リウマチの足指関節障害の種類と手術方法について教えてください. | 松野博明、 松原 司 | ズバッと答える 関節リウマチ～ 患者さんからの 85通の挑戦状～ | 日本医学出 版 | 東京 | 2018 | 168-171 |
| 藤井 隆夫 | 第1章関節リウマチとは 第5章 生物学的製剤 | 松野 博明、 松原 司 | 【最新版】ズバッと答える関節リウマチ～患者さんからの85通の挑戦状～ | 日本医学出 版 | 東京 | 2018 | pp. 20-21 , pp. 25-26, p p. 110-112 |
| 藤井 隆夫 | II 専門医の管理・治療が必要な疾患のガイドライン. 全身性疾患/膠原病. 17 関節リウマチ | 泉 孝英 | 今日の診療のために ガイドライン 外来診療2018 | 日経メディカル開発 | 東京 | 2018 | pp. 479-484 |
| 藤井 隆夫 | III章 各論. A 合成抗リウマチ薬 (sDMARDs). 1) 従来型抗リウマチ薬 (csDMARDs). 1 メトトレキサート | 川畑 仁人 | リウマチ・膠原病治療薬ハンドブック - エキスパートが教える極意 - | 文光堂 | 東京 | 2018 | pp. 24-29 |
| 松下 功 | リハビリ | 松野博明、 松原 司 | ずばっと答える 関節リウマチ | 日本医学出 版 | 東京 | 2018 | 174-183 |
| 田中栄一、 山中寿 | バイオシミラーとその使い分け | 田中良哉 | Modern Physician | 新興医学出 版社 | 東京 | 2018 | 992-993 |
| 田中栄一 | 関節リウマチ治療バイオシミラーの経済効果 | | リウマチ科 | 科学評論社 | 東京 | 2019 | 48-52 |
| 田中栄一 | 関節リウマチにおける費用対効果評価 | | Pharma Medica | メディカル レビュー社 | 東京 | 2019 | 91-94 |
| 和田誠、川 人豊. | 消化管障害・肝機能障害・腎機能障害出現時のマネージメント | 宮坂信之 | リウマチ科 | 科学評論社 | 東京 | 62(6) 2019 | 509-517 |
| 川人豊 | 抗リウマチ薬の特徴と適正使用.MTX以外の免疫抑制薬 | 佐野 統 | 抗リウマチ薬ガイドブック | フジメディカル出版 | 大阪 | 2019 | 33-37 |

| | | | | | | | |
|---------------------------------------|--|--------------------------------------|--|------------------------|----|------|---------|
| 川人豊 | 従来型抗リウマチ薬 | 中原英子 金子裕子 | 関節リウマチ看護ガイドブック | 羊土社 | 東京 | 2019 | 76 |
| 岸本暢将, 岡田正人 | 単行本 | 岸本暢将, 岡田正人 | 関節リウマチの診かた, 考え方 ver3 | 中外医学社 | 東京 | 2019 | 単行本 |
| 鈴木康夫, 佐々木則子, 佐々翔, 若林孝之 | 合併症/併存症をもつ関節リウマチ患者のマネジメント. リンパ増殖性疾患・リンパ腫 | 大井一弥, 折井孝男, 丸山徹, 室井延行 | 薬局 | 南山堂 | 東京 | 2019 | 71-77 |
| 鈴木康夫 | 関節リウマチに対するメトトレキサート治療はどこに向かうのか | 宮坂信之 | 炎症と免疫 | 先端医学社 | 東京 | 2019 | 258-261 |
| 中山健夫 | 診療ガイドラインに関する基本知識 | 門脇 孝, 小室 一成, 宮地 良樹 (監修) | 日常診療に活かす診療ガイドラインUP-TO-DATE 2018-2019 - | 株式会社 メディカル レビュー社 | 東京 | 2018 | 10-15 |
| 西田圭一 郎、鉄永倫 子、原田遼 三、井上真 一郎 | 関節リウマチ: 感染症を景気に関節痛の増悪、両下肢麻痺に至ったケース | 牛田享宏、 福井 聖、川崎元敬 | 慢性疼痛ケースカンファレンス | MEDICAL VIEW社 | 東京 | 2020 | 381-390 |
| 小橋靖子、 西田圭一郎 | 関節手術時の看護 | 房間見恵、 竹内 勤 監修、 中原英子、 金子祐子 編 | 関節リウマチ看護ガイドブック | 羊土社 | 東京 | 2019 | 244-247 |
| 藤田慎一 朗、西田圭 一郎 | 関節リウマチとリハビリテーション | 房間見恵、 竹内 勤 監修、 中原英子、 金子祐子 編 | 関節リウマチ看護ガイドブック | 羊土社 | 東京 | 2019 | 111-119 |
| 藤井 隆夫 | 3 抗リウマチ薬の特徴と適正使用. 生物学的製剤 | 佐野 統 | 実臨床に活かす抗リウマチ薬ガイドブックだから, これを選ぶ, こう使う | フジメディカル出版 | 大阪 | 2019 | 38-45 |
| 松下 功 | 正常関節の構造と関節リウマチにおける関節の変化 | 中原英子、 金子祐子編 | 関節リウマチ看護ガイドブック | 羊土社 | 東京 | 2019 | 27-31 |

| | | | | | | | |
|-----------------------|--|----------------------------------|--|---------------------|----|------|--------------------|
| 針谷正祥 他 | 関節リウマチ診療 ガイドライン 2020 | 一般社団法人 日本リウマチ学会 | 関節リウマチ診 療ガイドライン 2020 | 株式会 社 診断と治療 社 | 東京 | 2020 | 全編 |
| 森 雅亮 | 小児疾患－若年性 特発性関節炎. | | 今日の診断指 針(第8版) | 医学書院 | 東京 | 2020 | 1942-19 44 |
| 森 雅亮 | 膠原病・リウマチ性 疾患, 原発性免疫 不全症－若年性特 発性関節炎. | | 新臨床内科学 (第10版) | 医学書院 | 東京 | 2020 | 1760-17 62 |
| 伊藤秀 一・森 雅 亮 監修. | 小児リウマチ学 | 日本小児リ ウマチ学会 編集 | 小児リウマチ学 | 朝倉書店 | 東京 | 2020 | 全編 |
| 森 雅亮、 他 | 若年性特発性関節 炎における生物学 的製剤使用の手引 き 2020年度版. | 厚労省移行 期班 若年 性特発性関 節炎分担班 | 若年性特発性関 節炎における生 物学的製剤使用 の手引き 2020 | 羊土社 | 東京 | 2020 | 全編 |
| 森 雅亮、 他 | 成人診療科のため の小児リウマチ性 疾患移行支援ガイ ド. | 厚労省移行 期班 編集 | 成人診療科医の ための小児リウ マチ性疾患移行 支援ガイド | 羊土社 | 東京 | 2020 | 全編 |
| 森 雅亮、 他 | 脊椎関節炎診療の 手引き 2020. | 日本脊椎関 節炎学会 編集 | 脊椎関節炎診療 の手引き 2020. | 診断と治療 社 | 東京 | 2020 | 118-125 |
| 森 雅亮、 他 | 小児感染免疫学. | 日本小感染 症学会 編 集 | 小児感染免疫 学. | 朝倉書店 | 東京 | 2020 | 全編 |
| 森 雅亮 | 川崎病(冠動脈病変 を除く)、非結核性 抗酸菌症. | | 今日の小児治療 指針(第17版) | 医学書院 | 東京 | 2020 | 277-280 362-363 |
| 森 雅亮、 他 | 小児非感染性ぶど う膜炎 初期診療の 手引き2020年版. | 一般社団法人 日本リウ マチ学会 小児リウ | 小児非感染性ぶ どう膜炎 初期 診療の手引き20 20年版. | 羊土社 | 東京 | 2020 | 全編 |
| 岸本暢将, 岡田正人 | 関節リウマチの診 かた, 考え方ver4 | 岸本暢将, 岡田正人 | 関節リウマチの 診かた, 考え方 ver3 | 中外医学社 | 東京 | 2020 | 単行本 |
| 西田圭一郎 | TEAの合併症対策. 3. 脱臼 | 山本謙吾 | スペシャリスト がすすめる人工 関節手術合併症 対策 | 南江堂 | 東京 | 2021 | 213-216 |

| | | | | | | | |
|-----------------------------|--|-----------------------------|-------------------------------------|-------------|----|------|---------------|
| 西田圭一郎 | TEAの合併症対策. 4. 摩耗、ゆるみ、 破損 | 山本謙吾 | スペシャリスト がすすめる人工 関節手術合併症 対策 | 南江堂 | 東京 | 2021 | 217-220 |
| 西田圭一 郎、鉄永智 紀、尾崎敏 文 | 関節外科技術の疼 痛への応用. 第IV 編 痛みの評価と治 療. 2. 治療, 6.手 | 田口敏彦、 飯田宏樹、 牛田享宏 | 疼痛医学 | 医学書院 | 東京 | 2020 | 347-352 |
| 渡辺雅仁、 西田圭一郎 | 第2章 疾患別の薬 剤 III 関節疾患 A. 関節リウマチ | 萩野 浩 | とことん使いこ なす整形外科薬 剤 | 南江堂 | 東京 | 2020 | 64-80 |
| 西田圭一郎 | 関節リウマチの疼 痛発生機序と治療 戦略. 第3章 症 状・原因疾患に応じ た治療戦略 | 池内昌彦 | 長引く膝の痛み に対する治療戦 略 | 日本醫事新 報社 | 東京 | 2020 | 88-94 |
| 西田圭一郎 | 変形性関節症(骨関 節炎). 第13章 膠 原病. リウマチ性 疾患、原発性免疫不 全症 | 矢崎義雄 | 新臨床内科学 第10版 | 医学書院 | 東京 | 2020 | 1795-17 97 |
| 中島亜矢子 | 第4章 多様な患者 背景に対応するた めに 我が国における関 | 針谷正祥 | RA診療ガイドラ イン | 診断と治療 社 | 東京 | 2021 | |
| 川人 豊 | 非ステロイド性抗 炎症薬 (NSAID s) | 日本医師会 生涯教育課 編集企画 室 | 日本医師会雑誌 第149巻特別号 | 診断と治療 社 | 東京 | 2020 | 128-131 |

雑誌

| 発表者氏名 | 論文タイトル名 | 発表誌名 | 巻号 | ページ | 出版年 |
|------------|--|-----------------------|-------|----------------------------------|------|
| Harigai M. | Growing evidence of the safety of JAK inhibitors in patients with rheumatoid arthritis and rheumatoid arthritis. | Rheumatology (Oxford) | Feb 1 | doi: 10.1093/rheumatology/key287 | 2019 |

| | | | | | |
|---|---|----------------|--------|-------------------------------------|------|
| Harigai M, Takeuchi T, Smolen JS, Winthrop KL, Nishikawa A, Rooney TP, Saifan CG, Issa M, Isaka Y, Akashi N, Ishii T, Tanaka Y. | Safety profile of baricitinib in Japanese patients with active rheumatoid arthritis with over 1.6 years median time in treatment: an integrated analysis of Phase 2 and 3 trials. | Mod Rheumatol. | Feb 20 | doi: 10.1080/14397595.2019.1583711 | 2019 |
| Kasai S, Sakai R, Koike R, Kohsaka H, Miyasaka N, Harigai M. | Higher risk of hospitalized infection, cardiovascular disease, and fracture in patients with rheumatoid arthritis determined using the Japanese health insurance database. | Mod Rheumatol. | Nov 28 | doi: 10.1080/14397595.2018.1519889. | 2018 |
| Harigai M, Ishiguro N, Inokuma S, Mimori T, Raneyu J, Takei S, Takeuchi T, Tanaka Y, Takasaki Y, Yamanaka H, Yoshizawa Y, Chinen I, Nakao T, Koike T. | Safety and effectiveness of abatacept in Japanese non-elderly and elderly patients with rheumatoid arthritis in an all-cases post-marketing surveillance. | Mod Rheumatol. | Oct 25 | doi: 10.1080/14397595.2018.1524998. | 2018 |
| Kameda H, Fujii T, Nakajima A, Koike R, Sagawa A, Kanbe K, Tomita T, Harigai M, Suzuki Y | Japan College of Rheumatology subcommittee on the guideline for the use of methotrexate in patients with rheumatoid arthritis. Japan College of Rheumatology guideline for the use of methotrexate in patients with rheumatoid arthritis. | Mod Rheumatol. | 29(1) | 31-40 | 2018 |

| | | | | | |
|---|---|------------------|--------|-------------------------------------|------|
| Sakai R, Kasai S, Hirano F, Harigai M, Kihara S, Yokoyama W, Tsutsumino M, Nagasaka K, Koike R, Yamanaka H, Miyasaka N, Harigai M. | No increased risk of herpes zoster in TNF inhibitor and non-TNF inhibitor users with rheumatoid arthritis: epidemiological study using the Japanese health insurance database. | Int J Rheum Dis. | 21(9) | 1670-1677 | 2018 |
| Mimori T, Harigai M, Atsumi T, Fujii T, Kuwana M, Matsuno H, Momohara S, Takeuchi S, Tamura N, Takasaki Y, Yamamoto K, Ikeuchi S, Kushimoto S, Koike T. | Safety and effectiveness of iguratimod in patients with rheumatoid arthritis: Final report of a 52-week, multicenter postmarketing surveillance study. | Mod Rheumatol. | Apr 27 | doi: 10.1080/14397595.2018.1460230. | 2018 |
| Tanaka Y, Takeuchi T, Harigai M, Yamanaka H, Nakano T, Akagie K, Ukyo Y, Hsu B. | Efficacy and safety of sirukumab in Japanese patients with active rheumatoid arthritis who were refractory or intolerant to anti-tumor necrosis factor therapy: Subgroup analysis of a randomized, double-blind, multicenter, phase 3 study (SIRROUND-T). | Mod Rheumatol. | Apr 13 | doi: 10.1080/14397595.2018.1452345. | 2018 |
| Takeuchi T, Tanaka Y, Yamanaka H, Harigai M, Nakano T, Akagie K, Ukyo Y, Hsu B. | Efficacy and safety of sirukumab in Japanese patients with moderate to severe rheumatoid arthritis inadequately controlled by disease modifying anti-rheumatic drugs: Subgroup analysis of a phase 3 study. | Mod Rheumatol. | 28(6) | 941-949 | 2018 |

| | | | | | |
|--|--|---------------------|-------|-----------|------|
| Takeuchi T, Harigai M, Tanaka Y, Yamanaka H, Ishiguro N, Yamamoto K, Miyasaka N, Koike T, Ukyo Y, Ishii Y, Yoshinari T, Baker D | GO-MONO study group. Clinical efficacy, radiographic, and safety results of golimumab monotherapy in Japanese patients with active rheumatoid arthritis despite prior therapy with disease-modifying antirheumatic drugs: Final results of the GO-MONO trial through week 120. | Mod Rheumatol. | 28(5) | 770-779 | 2018 |
| Tanaka Y, Atsumi T, Amano K, Harigai M, Ishii T, Kawaguchi O, Rooney TP, Akashi N, Takeuchi T. | Efficacy and safety of baricitinib in Japanese patients with rheumatoid arthritis: Subgroup analyses of four multinational phase 3 randomized trials. | Mod Rheumatol. | 28(4) | 583-591 | 2018 |
| Hakamata J, Kaneko Y, Shimizu M, Yamaoka K, Maruyama J, Takeuchi T, Mochizuki M, Hashiguchi M. | Factors Predicting the Therapeutic Response to Methotrexate in Japanese Patients with Rheumatoid Arthritis: A Hospital-Based Cohort Study. | Biol Pharm Bull. | 41(9) | 1414-1422 | 2018 |
| Inamo J, Kaneko Y, Sakata K, Takeuchi T. | Impact of subclinical synovitis in ankles and feet detected by ultrasonography in patients with rheumatoid arthritis. | Int J Rheum Dis. | 22(1) | 62-67 | 2019 |
| Kondo Y, Suzuki K, Inoue Y, Sakata K, Takahashi C, Takeshita M, Kassai Y, Miyazaki T, Morita R, Niki Y, Kaneko Y, Yasuoka H, Yamaoka K, Yoshimura A, Takeuchi T. | Significant association between joint ultrasonographic parameters and synovial inflammatory factors in rheumatoid arthritis. | Arthritis Res Ther. | 21(1) | 14 | 2019 |

| | | | | | |
|--|--|-------------------------------------|--------|-----------|------|
| Kukida Y, Kasahara A, Seno T, Inoue T, Sagawa R, Kida T, Nakabayashi A, Nagahara H, Murakami K, Sugitani T, Morita S, Ito H, Oda R, Fujiwara H, Kohno M, Kawahito Y. | Efficacy of abatacept in patients with rheumatoid arthritis, as assessed by magnetic resonance imaging of bilateral hands. | Int J Rheum Dis. | 21(9) | 1678-1685 | 2018 |
| Kida T, Seno T, Nagahara H, Inoue T, Nakabayashi A, Kukida Y, Fujioka K, Fujii W, Wada M, Kohno M, Kawahito Y. | Roles of high-mobility group box 1 and thrombin in murine pulmonary fibrosis and the therapeutic potential of thrombomodulin. | Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol. | 314(3) | L473-L483 | 2018 |
| Gottlieb AB, Strand V, Kishimoto M, Mease P, Thaçi D, Birt J, Lee CH, Shuler CL, Lin CY, Gladman DD. | Ixekizumab improves patient-reported outcomes up to 52 weeks in bDMARD-naïve patients with active psoriatic arthritis (SPIRIT-P1). | Rheumatology (Oxford) | 57(10) | 1777-1788 | 2018 |
| Sawada H, Suda M, Rokutanda R, Kobayashi D, Kishimoto M, Okada M. | Concomitant use of intravenous methylprednisolone to increase retention rate of abatacept in rheumatoid arthritis. | Rheumatol Int | 38(10) | 1825-1831 | 2018 |
| Yamanaka H, Kishimoto M, Pappas DA, Greenberg JD, Kremer JM, Tanaka Y | Design characteristics of the CORRONA Japan rheumatoid arthritis registry. | Mod Rheumatol | 28(1) | 95-100 | 2018 |
| Shiraishi K, Suda M, Rokutanda R, Kishimoto M, Okada M. | Mizoribine is as effective as methotrexate for the treatment of polymyalgia rheumatica: a retrospective case series analysis. | Arch Rheumatol | 33(3) | 302-308 | 2018 |

| | | | | | |
|--|---|------------------|---------------------|------------------------------------|---------------------|
| Kishimoto M, Yoshida K, Ichikawa N, Inoue H, Kaneko Y, Kawasaki T, Matsui K, Morita M, Suda M, Tada K, Takizawa N, Tamura N, Taniguchi A, Taniguchi Y, Tsuji S, Haji Y, Rokutanda R, Yanaoka H, Cheung PP, Gu J, Kim TH, Luo SF, Okada M, Medina CL, Molto A, Dougados M, Kobayashi S, van der Heijde D, Tomita T. | Clinical characteristics of spondyloarthritis patients in Japan in comparison to other regions of the world. | J Rheumatol | | | 2019 Feb 22 (E-pub) |
| Asai S et al. | Influence of methotrexate on gastrointestinal symptoms in patients with rheumatoid arthritis. | Int J Rheum Dis | 22(2) | 207-13 | 2019 |
| Takahashi N et al | Clinical effectiveness and long-term retention of abatacept in elderly rheumatoid arthritis patients: Results from a multicenter registry system. | Mod Rheumatol | Epub ahead of print | doi: 10.1080/14397595.2018.1525019 | 2018 |
| Matsumoto T et al. | Association between chest computed tomography findings and respiratory adverse events in rheumatoid arthritis patients undergoing long-term biological therapy. | Int J Rheum Dis | Epub ahead of print | doi: 10.1111/1756-185X.13434 | 2018 |
| Kojima T, Ishikawa H, Tanaka S, Haga N, Nishida K, Yukioka M, Hashimoto J, Miyahara H, Niki Y, Kimura T, Oda H, Asai S, Funahashi K, Kojima M, Ishiguro N. | Target setting for lower limb joint surgery using the Timed Up and Go test in patients with rheumatoid arthritis: A prospective cohort study. | Int J Rheum Dis. | 21(10) | 1801-1808 | 2018 |

| | | | | | |
|--|---|------------------|--------|-----------|------|
| Kojima T, Ishikawa H, Tanaka S, Haga N, Nishida K, Yukioka M, Hamashimoto J, Miyahara H, Niki Y, Kitamura T, Oda H, Asai S, Funahashi K, Kojima M, Ishiguro N. | Validation and reliability of the Timed Up and Go test for measuring objective functional impairment in patients with long-standing rheumatoid arthritis: a cross-sectional study. | Int J Rheum Dis. | 21(10) | 1793-1800 | 2018 |
| Kojima T, Ishikawa H, Tanaka S, Haga N, Nishida K, Yukioka M, Hamashimoto J, Miyahara H, Niki Y, Kitamura T, Oda H, Asai S, Funahashi K, Kojima M, Ishiguro N. | Characteristics of functional impairment in patients with long-standing rheumatoid arthritis based on range of motion of joints: Baseline data from a multicenter prospective observational cohort study to evaluate the effectiveness of joint surgery in the treat-to-target era. | Mod Rheumatol. | 28(3): | 474-481 | 2018 |
| Kubo S, Todoroki Y, Nakayamada S, Nakano K, Satoh M, Nawata A, Satoh Y, Miyagawa I, Saito K, Smith V, Cutolo M, Tanaka Y. | Significance of nailfold videocapillaroscopy in patients with idiopathic inflammatory myopathies. | Rheumatology | 58(1) | 120-130 | 2019 |
| Yoshikawa M, Nakayamada S, Kubo S, Nawata A, Kitanaga Y, Iwata S, Sakata K, Ma X, Wang SP, Nakano K, Saito K, Tanaka Y. | Type I and II interferons commit to abnormal expression of chemokine receptor on B cells in patients with systemic lupus erythematosus. | Clin Immunol | 200 | 1-9 | 2018 |

| | | | | | |
|--|---|---------------------|--------|-----------|------|
| Tanaka Y, Kameda H, Saito K, Kaneko Y, Tanaka E, Yasuda S, Tamura N, Fujio K, Fujii T, Kojima T, Anzai T, Hamada C, Fujino Y, Matsuda S, Kohsaka H. | Effect of subcutaneous tocilizumab treatment on work/housework status in biologic-naïve rheumatoid arthritis patients using inverse probability of treatment weighting: FIRST ACT-SC study. | Arthritis Res Ther. | 20(1) | 151 | 2018 |
| Kubo S, Nakayamada S, Nakano K, Sawamukai N, Hirata S, Hanami K, Saito K, Tanaka Y. | Comparison of efficacy of TNF inhibitors and abatacept in patients with rheumatoid arthritis: Adjusted with propensity score matching. | Clin Immunol | 191 | 67-74 | 2018 |
| Kakugawa T, Sakamoto N, Ishimoto H, Shimizu T, Nakamura H, Nawata A, Ito C, Sato S, Hanaka T, Oda K, Kido T, Miyamura T, Nakashima S, Aoki T, Nakamichi S, Obase Y, Saito K, Yatera K, Ishimatsu Y, Nakayama T, Korogi Y, Kawakami A, Tanaka Y, Mukae H. | Lymphocytic focus score is positively related to airway and interstitial lung diseases in primary Sjögren's syndrome | Respir Med | 137 | 95-102 | 2018 |
| Nagayasu A, Kubo S, Nakano K, Nakayamada S, Iwata S, Miyagawa I, Fukuyo S, Saito K, Tanaka Y. | IgG4-related Pleuritis with Elevated Adenosine Deaminase in Pleural Effusion. | Intern Med. | 57(15) | 2251-2257 | 2018 |

| | | | | | |
|---|---|----------------|-------|-----------|------|
| Satoh Y, Nakano K, Yoshinari H, Nakayamada S, Iwata S, Kubo S, Miyagawa I, Yoshikawa M, Miyazaki Y, Saito K, Tanaka Y. | A case of refractory lupus nephritis complicated by psoriasis vulgaris that was controlled with secukinumab. | Lupus | 27(7) | 1202-1206 | 2018 |
| Ishii T, Tanaka Y, Kawakami A, Saito K, Ichinose K, Fujii H, Shirota Y, Shirai T, Fujita Y, Watanabe R, Chiu SW, Yamaguchi T, Harigae H. | Multicenter double-blind randomized controlled trial to evaluate the effectiveness and safety of bortezomib as a treatment for refractory systemic lupus erythematosus | Mod Rheumatol | 28(6) | 986-992 | 2018 |
| Iwata S, Saito K, Hirata S, Ohkubo N, Nakayamada S, Nakano K, Hanami K, Kubo S, Miyagawa I, Yoshikawa M, Miyazaki Y, Yoshinari H, Tanaka Y. | Efficacy and safety of anti-CD20 antibody rituximab for patients with refractory systemic lupus erythematosus. | Lupus | 27(5) | 802-811 | 2018 |
| Miyazaki Y, Nakayamada S, Kubo S, Nakano K, Iwata S, Miyagawa I, Ma X, Trimova G, Sakata K, Tanaka Y. | Th22 Cells Promote Osteoclast Differentiation <i>via</i> Production of IL-22 in Rheumatoid Arthritis. | Front Immunol. | 9 | 2901 | 2018 |
| Ueno M, Nakano K, Yoshinari H, Nakayamada S, Iwata S, Kubo S, Miyagawa I, Tanaka Y. | An Autopsy Case with Cerebral Hemorrhaging Due to Disseminated Aspergillosis During Glucocorticoid Therapy for Overlap Syndrome of Systemic Lupus Erythematosus and Systemic Sclerosis. | Intern Med. | | 1226-18 | 2018 |

| | | | | | |
|--|--|---------------------|-------|---------------------------------------|------|
| Ishikawa Y, Iwata S, Hanami K, Nawata A, Zhang M, Yamagata K, Hirata S, Sakata K, Todoroki Y, Nakano K, Nakayamada S, Satoh M, Tanaka Y. | Relevance of interferon-gamma in pathogenesis of life-threatening rapidly progressive interstitial lung disease in patients with dermatomyositis. | Arthritis Res Ther. | 20(1) | 240 | 2018 |
| Miyagawa I, Nakano K, Nakayamada S, Iwata S, Hanami K, Fukuyo S, Kubo S, Inoue Y, Ueno M, Tanaka Y. | Effectiveness and safety of hydroxychloroquine therapy with or without corticosteroid in patients with systemic lupus erythematosus. | Int J Rheum Dis. | | doi: 10.1111/1756-185X.13387 | 2018 |
| Sakata K, Nakayamada S, Miyazaki Y, Kubo S, Ishii A, Nakano K, Tanaka Y. | Up-Regulation of TLR7-Mediated IFN- α Production by Plasmacytoid Dendritic Cells in Patients With Systemic Lupus Erythematosus. | Front Immunol. | 28;9 | 1957 | 2018 |
| Kawabe A, Nakano K, Miyata H, Shibuya R, Matsuyama A, Ogoshi T, Tanaka Y. | Fatal Chronic Active Epstein-Barr Virus Infection in a Rheumatoid Arthritis Patient Treated with Abatacept. | Intern Med. | | doi: 10.2169/internalmedicine.1280-18 | 2018 |
| Aritomi T, Kido T, Nakano K, Satoh Y, Noguchi S, Jotatsu T, Hanaka T, Satoh M, Tanaka Y, Yatera K. | A Case of a Small Cell Lung Cancer Patient with Anti-transcriptional Intermediary Factor 1 γ Antibody Who Developed Dermatomyositis after Successful Chemoradiotherapy. | Intern Med. | | doi: 10.2169/internalmedicine.1007-18 | 2018 |

| | | | | | |
|---|---|--------------------------|--------|--|------|
| Kubo S, Nakayamada S, Sakata K, Kitanaga Y, Ma X, Lee S, Ishii A, Yamagata K, Nakano K, Tanaka Y. | Janus Kinase Inhibitor Baricitinib Modulates Human Innate and Adaptive Immune System. | Front Immunol | 28:9 | 1510 | 2018 |
| Miyagawa I, Nakayamada S, Nakano K, Kubo S, Iwata S, Miyazaki Y, Yoshikawa M, Yoshinari H, Tanaka Y. | Precision medicine using different biological DMARDs based on characteristic phenotypes of peripheral T helper cells in psoriatic arthritis. | Rheumatology (Oxford) | | doi: 10.1093/rheum atology/key06 9. | 2018 |
| Kawabe A, Nakano K, Aiko Y, Aramaki S, Onoue T, Okura D, Tanaka Y. | Successful Management of Pregnancy in a Patient with Systemic Lupus Erythematosus-associat ed Pulmonary Arterial Hypertension. | Intern Med. | 57(11) | 1655-1659 | 2018 |

| | | | | | |
|---|---|-----------------------|--------------|---|-------------|
| <p>Oku K, Atsumi T, Akiyama Y, Amanohara H, Azuma N, Bohgaki T, Asanuma YF, Horita T, Hosoya T, Ichinose K, Kato M, Katsumata Y, Kawaguchi Y, Kawakami A, Kogata T, Kohsaka H, Kondo Y, Kubo K, Kuwana M, Mimori A, Mimori T, Mimura T, Murakami K, Nakano K, Nakayamada S, Ogishima H, Ohmura K, Saito K, Sano H, Shibuya M, Takahashi Y, Takasaki Y, Takeuchi T, Tamura N, Tanaka Y, Tsuboi H, Tsunoda S, Yukawa N, Yamakawa N, Yamamoto K, Sumida T.</p> | <p>Evaluation of the alternative classification criteria of systemic lupus erythematosus established by Systemic Lupus International Collaborating Clinics (SLICC).</p> | <p>Mod Rheumatol.</p> | <p>28(4)</p> | <p>642-648</p> | <p>2018</p> |
| <p>Suzuki Y, Sugiyama N, Fukuma Y, Sugiyama N, Kobayashi T.</p> | <p>Safety and effectiveness of high-dose methotrexate (over 8 mg/week) in 2838 Japanese patients with rheumatoid arthritis: A postmarketing surveillance report</p> | <p>Mod Rheumatol.</p> | <p>Oct 4</p> | <p>doi: 10.1080/14397595.2018.1532483</p> | <p>2018</p> |

| | | | | | |
|--|--|----------------------------|----------|-----------|------|
| Nogi S, Sato S, Sasaki S, Tomoatsu K, Narayama C, Ikeda M, Nakamura N, Suzuki Y. | Iatrogenic immunodeficiency-associated latent Epstein-Barr virus-related lymphomatoid granulomatosis initial presenting as unusual gynecocological manifestations in a case of rheumatoid arthritis- a case report and review. | Mod Rheumatol Case Reports | 3 | 5-9 | 2019 |
| Carreras J, Kikuti YY, Miyaoka M, Hiraiwa S, Tomita S, Ikoma H, Kondo Y, Shiraiwa S, Ando K, Satoh S, Suzuki Y, Miura I, Roncador G, Nakamura. | Genomic profile and pathologic features of diffuse large B-cell lymphoma subtype of methotrexate-associated lymphoproliferative disorder in rheumatoid arthritis patients. | Am J Surg Pathol | 42 | 936-50 | 2018 |
| Hasegawa M, Sakai F, Konda N, Okabayashi A, Katsura H, Seto Y | CT assessment of axillary lymphadenopathy in patients with rheumatoid arthritis: association with disease activity and severity. | Rheumatol Int | 38 | 1017-1022 | 2018 |
| Ishikawa Y, Hashimoto M, Ito H, Tanaka M, Yukawa N, Fujii T, Yamamoto W, Mimori T, Terao C. | Anti-nuclear antibody development is associated with poor treatment response to biological disease-modifying antirheumatic drugs in patients with rheumatoid arthritis. | Semin Arthritis Rheum. | in press | | 2019 |
| Takeuchi Y, Hashimoto M, Nakashima R, Tanaka M, Kuramoto N, Murakami K, Yoshifuji H, Ohmura K, Mimori T. | Anti-EJ, anti-MDA5 double-positive chronic clinically amyopathic dermatomyositis: a case report. | Rheumatol Adv Pract. | 2(2) | rky022 | 2018 |
| Yoshida T, Hashimoto M, Kawahara R, Yamamoto H, Tanaka M, Ito H, Masuda I, Hosoda K, Yamamoto W, Uozumi R, Morita S, Fujii Y, Mimori T, Nin K | Non-obese visceral adiposity is associated with the risk of atherosclerosis in Japanese patients with rheumatoid arthritis: a cross-sectional study | Rheumatol Int. | 38(9) | 1679-1689 | 2018 |

| | | | | | |
|---|---|-----------------|--------|----------|------|
| Sumida T, Azuma N, Moriyama M, Takahashi H, Asahima H, Honda F, Abe S, Ono Y, Hirota T, Hirata S, Tanaka Y, Shimizu T, Nakamura H, Kawakami A, Sano H, Ogawa Y, Tsubota K, Ryo K, Saito I, Tanaka A, Nakamura S, Takamura E, Tanaka M, Suzuki K, Takeuchi T, Yamakawa N, Mimori T, Ohta A, Nishiyama S, Yoshihara T, Suzuki Y, Kawano M, Tomiita M, Tsuboi H. | Clinical practice guideline for Sjogren's syndrome 2017. | Mod Rheumatol. | 28(3) | 383-408 | 2018 |
| Okabe N, Ohmura K, Katayama M, Akizuki S, Carpino N, Murakami K, Nakashima R, Hashimoto M, Imura Y, Yoshifuji H, Tanaka M, Mimori T. | Suppressor of TCR signaling-2 (STS-2) suppresses arthritis development in mice. | Mod Rheumatol. | 28(4) | 626-636 | 2018 |
| Nakagawa S, Nakaiishi M, Hashimoto M, Ito H, Yamamoto W, Nakashima R, Tanaka M, Fujii T, Omura T, Imai S, Nakagawa T, Yonezawa A, Imai H, Mimori T, Matsubara K. | Effect of medication adherence on disease activity among Japanese patients with rheumatoid arthritis. | PLoS One. | 13(11) | e0206943 | 2018 |
| Murata K, Ito H, Hashimoto M, Nishitani K, Murakami K, Tanaka M, Yamamoto W, Mimori T, Matsuda S. | Elderly onset of early rheumatoid arthritis is a risk factor for bone erosions, refractory to treatment: KURAMA cohort. | Int J Rheum Dis | | | 2018 |

| | | | | | |
|--|---|---------------------|-----------|----------|------|
| Morita Y, Ito H, Torii M, Hanai A, Furu M, Hashimoto M, Tanaka M, Azukizawa M, Arai H, Mimori T, Matsuda S. | Factors affecting walking ability in female patients with rheumatoid arthritis. | PLoS One. | 13(3) | e0195059 | 2018 |
| Matsuo T, Hashimoto M, Ito I, Kubo T, Uozumi R, Furu M, Ito H, Fujii T, Tanaka M, Terao C, Kono H, Mori M, Hamaguchi M, Yamamoto W, Ohmura K, Morita S, Mimori T. | Interleukin-18 is associated with the presence of interstitial lung disease in rheumatoid arthritis: a cross-sectional study. | Scand J Rheumatol. | | 1-8 | 2018 |
| Masamoto K, Otsuki B, Fujibayashi S, Shima K, Ito H, Furu M, Hashimoto M, Tanaka M, Lyman S, Yoshitomi H, Tanida S, Mimori T, Matsuda S. | Factors influencing spinal sagittal balance, bone mineral density, and Oswestry Disability Index outcome measures in patients with rheumatoid arthritis. | Eur Spine J. | 27(2) | 406-415 | 2018 |
| Hashimoto M, Furu M, Yamamoto W, Fujimura T, Harada R, Katayama M, Ohnishi A, Akashi K, Yoshida S, Nagai K, Son Y, Amuro H, Hirano T, Ebina K, Uozumi R, Ito H, Tanaka M, Ohmura K, Fujii T, Mimori T. | Factors associated with the achievement of biological disease-modifying antirheumatic drug-free remission in rheumatoid arthritis: the ANSWER cohort study. | Arthritis Res Ther. | 20(1) | 165 | 2018 |
| 田中 真生 | 米国における関節炎の頻度は既報よりも多い。 | リウマチ科 | 61(1) | 69-72 | 2018 |
| 中山健夫 | 診療ガイドラインの今・これから | 東京女子医科大学雑誌 | 88(Extra) | E2-E9 | 2018 |
| 上田佳代、五十嵐稔子、中山健夫 | 根拠に基づく医療 (EBM) や診療ガイドラインとの上手な付き合い方 | 助産雑誌 | 72(12) | 916-922 | 2018 |

| | | | | | |
|--|--|------------------|--------|-------------------------------------|------|
| 中山健夫 | エビデンスに基づくリスク・ベネフィットのコミュニケーション：SDM〈共有意思決定に向けて〉 | 薬学雑誌 | 138(3) | 331-334 | 2018 |
| Horita M, Nishida K, Hashizume K, Nasu Y, Saiga K, Nakahara R, Machida T, Ohashi H, Ozaki T | Resection versus joint-preserving arthroplasty for forefoot deformities in patients with rheumatoid arthritis | Foot & Ankle Int | 39(3) | 292-299 | 2018 |
| Nishida K, Hashizume K, Nasu Y, Ozawa M, Fujiwara K, Inoue H, Ozaki T | Mid-term results of alumina ceramic unlinked total elbow arthroplasty with cement fixation for patients with rheumatoid arthritis | Bone Joint J | 100-B | 1066-73 | 2018 |
| Hirose T, Fukae Y, Takeshita A, Nishida K | The role of lymphotoxin- α in rheumatoid arthritis | Inflammation Res | 67(6) | 495-501 | 2018 |
| Nishida K, Harada R, Nasu Y, Takeshita A, Nakahara R, Natsumeda M, Ozaki T | The clinical course of patients with rheumatoid arthritis who underwent orthopaedic surgeries under disease control by tofacitinib | Modern Rheumatol | 30 | 1-3 | 2018 |
| Nishie H, Tetsunaga T, Kanzaki H, Oda K, Inoue S, Ryuo Y, Ota H, Miyawaki T, Arakawa K, Kitamura Y, Sendo T, Morimatsu H, Ozaki T, Nishida K | A multidisciplinary approach to the management of chronic pain using a self-managed behavioral exercise program: A pilot study in Japan | Acta Med Okayama | 72(4) | 343-350 | 2018 |
| Tetsunaga T, Nishida K, Kanzaki H, Misawa H, Takigawa T, Shiozaki Y, Ozaki T | Drug dependence in patients with chronic pain: A retrospective study | Medicine | 97(40) | e12748 | 2018 |
| Okita S, Nishida K, Ohtsuka A, Ozaki T | A high incidence of extensor pollicis brevis insertion into the distal phalanx in rheumatoid arthritis patients who required the surgical reconstruction for thumb boutonnière deformity | Modern Rheumatol | Oct 4 | doi: 10.1080/14397595.2018.1532484. | 2018 |

| | | | | | |
|--|---|--------------------|--------|-----------------------|------|
| Kaneko Y, Kato M, Tanaka Y, Inoo M, Kobayashi-Haraoka H, Amano K, Miyata M, Murakawa Y, Yasuoka H, Hirata S, Tanaka E, Miyasaka N, Yamanaoka H, Yamamoto K, Takeuchi T; SURPRISE study group. | Tocilizumab discontinuation after attaining remission in patients with rheumatoid arthritis who were treated with tocilizumab alone or in combination with methotrexate: results from a prospective randomised controlled study (the second year of the SURPRISE study) | Ann Rheum Dis | 77(9) | 1268-1275 | 2018 |
| Shirakashi M, Yoshifuji H, Kodama Y, Chiba T, Yamamoto M, Takahashi H, Uchida K, Okazaki K, Ito T, Kawa S, Yamada K, Kawano M, Hirata S, Tanaka Y, Moriyama M, Nakamura S, Kamisawa T, Matsui S, Tsuboi H, Sumida T, Shibata M, Goto H, Sato Y, Yoshino T, Mimori T. | Factors in glucocorticoid regimens associated with treatment response and relapses of IgG4-related disease: a multicentre study. | Sci Rep | 8(1) | 10262 | 2018 |
| Murakami K, Sekiguchi M, Hirata S, Fujii T, Matsui K, Morita S, Ohmura K, Kawahito Y, Nishimoto N, Mimori T, Sano H; ABROAD study investigators. | Predictive factors for structural remission using abatacept: Results from the ABROAD study. | Mod Rheumatol | Jun 27 | doi: 10.1080/14397595 | 2018 |
| Gudmann NS, Hirata S, Karsdal MA, Kubo S, Bay-Jensen AC, Tanaka Y | Increased remodelling of interstitial collagens and basement membrane is suppressed by treatment in patients with rheumatoid arthritis: serological evaluation of a one-year prospective study of 149 Japanese patients | Clin Exp Rheumatol | 36(3) | 462-470 | 2018 |

| | | | | | |
|---|---|-----------------------|-------|---------|------|
| Sumida T, Azuma N, Moriyama M, Takahashi H, Asashima H, Honda F, Abe S, Ono Y, Hirota T, Hirata S, Tanaka Y, Shimizu T, Nakamura H, Kawakami A, Sano H, Ogawa Y, Tsubota K, Ryo K, Saito I, Tanaka A, Nakamura S, Takamura E, Tanaka M, Suzuki K, Takeuchi T, Yamakawa N, Mimori T, Ohta A, Nishiyama S, Yoshihara T, Suzuki Y, Kawano M, Tomiita M, Tsuboi H | Clinical practice guideline for Sjögren's syndrome 2017 | Mod Rheumatol | 28(3) | 383-408 | 2018 |
| Kubo S, Nakayamada S, Zhao J, Yoshikawa M, Miyazaki Y, Nawata A, Hirata S, Nakano K, Saito K, Tanaka Y | Correlation of T follicular helper cells and plasmablasts with the development of organ involvement in patients with IgG4-related disease | Rheumatology (Oxford) | 57(3) | 514-524 | 2018 |
| Nakayamada S, Kubo S, Yoshikawa M, Miyazaki Y, Yunoue N, Iwata S, Miyagawa I, Hirata S, Nakano K, Saito K, Tanaka Y | Differential effects of biological DMARDs on peripheral immune cell phenotypes in patients with rheumatoid arthritis | Rheumatology (Oxford) | 57(1) | 164-174 | 2018 |
| Tsuji H, Ikari K, Ohmura K, Yano K, Furu M, Hashimoto M, Ito H, Fujii T, Yamamoto W, Taniguchi A, Yamanaka H, Mimori T, Terao C | Significant joint-destructive association of HLA-DRB1*04:05 independent of DAS28 in rheumatoid arthritis | Ann Rheum Dis | 78 | 284-286 | 2019 |
| 藤井 隆夫 | リウマチ性疾患の診療ガイドライン・推奨のupdate. 関節リウマチEULAR recommendations-2016 update | リウマチ科 | 59 | 345-350 | 2018 |

| | | | | | |
|---|--|----------------------|--------|-----------|------|
| 藤井 隆夫 | メトトレキサート診療ガイドライン2016改訂版の要点について | 臨床リウマチ | 30 | 5-11 | 2018 |
| Seki S, Hirano N, Matsushita I, Kawaguchi Y, Nakano M, Yasuda T, Motomura H, Sesuzuki K, Yahara Y, Watanabe K, Makino H, Kimura | Lumbar spine surgery in patients with rheumatoid arthritis (RA): what affects the outcomes? | Spine J. | 18 | 99-106 | 2018 |
| 松下 功 | 関節リウマチの画像評価 | 整形外科 | 69 | 161-167 | 2018 |
| 松下 功 | 関節リウマチの関節病変—大関節の単純X線写真— | 画像診断 | 38 | 9-15 | 2018 |
| 元村 拓、松下功、下条 竜一、野上 真紀子、平岩利仁、峯 隼人、木村 友厚 | メタロースに伴う脛骨巨大骨欠損に対してimpacted allograftを用いて人工膝関節再置換術を施行した関節リウマチ患者の1例. | 整形外科 | 69 | 1021-1024 | 2018 |
| Shirai T, Okano T, Morinobu A. | Rupture of Multiple Hepatic Artery Microaneurysms in Microscopic Polyangiitis. | J Rheumatol. | 45(12) | 1705 | 2018 |
| Shirai T, Onishi A, Waki D, Saegusa J, Morinobu A. | Successful treatment with tacrolimus in TAFRO syndrome: two case reports and literature review. | Medicine (Baltimore) | 97(23) | e11045 | 2018 |
| Onishi A, Otsuka Y, Morita N, Morinobu A. | Focal myositis diffusely involving multiple masticatory muscles. | Scand J Rheumatol. | 47 | 513-4 | 2018 |
| Nishida M, Saegusa J, Tanaka S, Morinobu A. | SL100A12 facilitates osteoclast differentiation from human monocytes. | PLoS One. | 13 | e0204140 | 2018 |
| Onishi A, Tanaka Y, Morinobu A. | Spontaneous remission in large-vessel vasculitis: Takayasu arteritis and paraneoplastic disorder associated with thymic carcinoma. | Scand J Rheumatol. | 48 | 79-81 | 2018 |

| | | | | | |
|--|--|------------------------|--------------|---|------|
| Takaichi Okano, Jun Saegusa, Yoshi Takahashi, Yoda Ueda, Akio Morinobu | Immunometabolism in rheumatoid arthritis. | Immunological Medicine | 41 | 89-97 | 2018 |
| Sendo S, Saegusa J, Morinobu A. | Myeloid-derived suppressor cells in non-neoplastic inflamed organs. | Inflamm Regen. | 17 | epub | 2018 |
| 森信 暁雄 | 炎症性サイトカインは転写因子SXOCを安定させることにより線維芽細胞様滑膜細胞のトランスフォーメーションに働く。 | リウマチ科 | 61 | 59-63 | 2019 |
| Nakayama M, Furuya T, Inoue E, Tanaka E, Ikari K, Nakajima A, Taniguchi A, Yamana H. | Factors associated with decreasing serum 25(OH)D among Japanese patients with rheumatoid arthritis: Results from the IORRA cohort study. | Mod Rheumatol | Jul 11 | doi: 10.1080/14397595 | 2018 |
| Yano K, Ikari K, Inoue E, Sakuma Y, Mochizuki T, Koenuma N, Tobimatsu H, Tanaka E, Taniguchi A, Okazaki K, Yamana H. | Features of patients with rheumatoid arthritis whose debut joint is a foot or ankle joint: A 5,479-case study from the IORRA cohort. | PLoS One | Sep 6; 13(9) | e0202427. doi: 10.1371/journal.pone.0202427 | 2018 |
| Harigai M, Winthrop K, Takeuchi T, Hsieh T, Chen Y, Smolen JS, Burmester G, Wallis C, Wu W, Dickson C, Liao R, Genovese M. | Evaluation of hepatitis B virus in clinical trials of baricitinib in rheumatoid arthritis. | RMD Open. | 6(1) | e001095 | 2020 |

| | | | | | |
|--|--|---------------------|-------|---------|------|
| Yamanaka H, Tanaka E, Nakajima A, Furuya T, Ikari K, Taniguchi A, Inoue E, Harigai M. | A large observational cohort study of rheumatoid arthritis, IORRA: Providing context for today's treatment options. | Modern Rheumatology | 30(1) | 1-6 | 2020 |
| Harigai M, Takeuchi T, Smolen JS, Winthrop KL, Nishikawa A, Rooney TP, Saifan CG, Issa M, Isakaya Y, Akashi N, Ishii T, Tanaka Y. | Safety profile of baricitinib in Japanese patients with active rheumatoid arthritis with over 1.6 years median time in treatment: An integrated analysis of Phases 2 and 3 trials. | Modern Rheumatology | 30(1) | 36-43 | 2020 |
| Kasai S, Sakai R, Koike R, Kohsaka H, Miyasaka N, Harigai M. | Higher risk of hospitalized infection, cardiovascular disease, and fracture in patients with rheumatoid arthritis determined using the Japanese health insurance database. | Modern Rheumatology | 29(5) | 788-794 | 2019 |
| Harigai M, Ishiguro N, Inokuma S, Mimori T, Ryujima J, Takei S, Takeuchi T, Tanaka Y, Takasaki Y, Yamanaka H, Yoshizawa Y, Chinen I, Nakao T, Koike T. | Safety and effectiveness of abatacept in Japanese non-elderly and elderly patients with rheumatoid arthritis in an all-cases post-marketing surveillance. | Modern Rheumatology | 29(5) | 747-755 | 2019 |
| Nakayama M, Furuya T, Inoue E, Tanaka E, Ikari K, Nakajima A, Taniguchi A, Yamanaka H. | Factors Associated With Decreasing Serum 25(OH)D Among Japanese Patients With Rheumatoid Arthritis: Results From the IORRA Cohort Study | Modern Rheumatology | 29(3) | 430-435 | 2019 |

| | | | | | |
|---|--|---------------------|--------|---------|------|
| Furuya T, Inoue E, Tanaka E, Maeda S, Ikari K, Taniguchi A, Yamana H. | Age and female gender associated with periodontal disease in Japanese patients with rheumatoid arthritis: Results from self-reported questionnaires from the IORRA cohort study. | Modern Rheumatology | 30 (3) | 465-470 | 2020 |
| Oh K, Furuya T, Inoue E, Tanaka E, Ikari K, Taniguchi A, Yamana H, Okazaki K, Harigai M. | A simple screening test to assess risk of falls in Japanese patients with rheumatoid arthritis: Results from the IORRA cohort study. | Modrn Rheumatology | | 1-4 | 2020 |
| Takanashi S, Kaneko Y, Takeuchi T. | CDAI and DAS28 in the management of rheumatoid arthritis in clinical practice. | Ann Rheum Dis | 79 (5) | 671-674 | 2020 |
| Tanaka Y, Kameda H, Saito K, Kaneko Y, Tanaka E, Yasuda S, Tamura N, Fujio K, Fuji T, Kojima T, Anzai T, Hamada C, Fujino Y, Matsuda S, Kohsaka H. | Response to tocilizumab and work productivity in patients with rheumatoid arthritis: 2-year follow-up of FIRST ACT-SC study. | Mod Rheumatol. | | 1-11 | 2020 |
| Kato M, Kaneko Y, Tanaka Y, Inoue M, Kobayashi-Haraoka H, Amano K, Miyata M, Murakawa Y, Yasuoka H, Hirata S, Nagasawa H, Tanaka E, Miyasaka N, Yamanaka H, Yamamoto K, Yokota I, Atsumi T, Takeuchi T. | Predictive value of serum amyloid A levels for requirement of concomitant methotrexate in tocilizumab initiation: A post hoc analysis of the SURPRISE study. | Mod Rheumatol. | 30 (3) | 442-449 | 2020 |

| | | | | | |
|--|--|---------------------|-------|----------|-------|
| Kondo Y, Suzuki K, Inoue Y, Sakata K, Takahashi C, Takeshita M, Kassai Y, Miyazaki T, Morita R, Niki Y, Kaneko Y, Yasuoka H, Yamaoka K, Yoshimura A, Takeuchi T. | Significant association between joint ultrasonographic parameters and synovial inflammatory factors in rheumatoid arthritis. | Arthritis Res Ther. | 21(1) | 14 | 2019 |
| Inamo J, Kaneko Y, Sakata K, Takeuchi T. | Impact of subclinical synovitis in ankles and feet detected by ultrasonography in patients with rheumatoid arthritis. | Int J Rheum Dis. | 22(1) | 62-97 | 2019 |
| Murakami K, Sekiguchi M, Hirata S, Fujii T, Matsui K, Morita S, Ohmura K, Kawahito Y, Nishimoto N, Mimori T, Sano H and the ABROAD study investigators. | Predictive factors for structural remission using abatacept. : Results from the ABROAD study | Mod Rheumatol. | 29(3) | 406-412 | 2019. |
| Inoue T, Kohno M, Nagahara H, Murakami K, Sagawa T, Kasahara A, Kaneshita S, Kida T, Fujioka K, Wada M, Nakada H, Hla T, Kawahito Y. | Upregulation of sphingosine-1-phosphate receptor 3 on fibroblast-like synoviocytes is associated with the development of collagen-induced arthritis via an increased interleukin-6 production. | PLoS One. | 14(6) | e0218090 | 2019. |
| Kaneshita S, Kida T, Yokota I, Nagahara H, Takahiro Seno T, Wada M, Kohno M, Kawahito Y. | Risk Factors for cytomegalovirus disease with cytomegalovirus reactivation in patients with rheumatic diseases. | Mod Rheumatol. | 30(1) | 109-115 | 2020. |

| | | | | | |
|---|---|-----------------|----------|-----------|------|
| 岸本暢将, 多田弥生, 岡田正人 | 乾癬から見た肥満と代謝疾患 | 日本内科学会雑誌 | 第108巻(4) | 708-714 | 2019 |
| Kishimoto M, Yoshida K, Ichikawa N, et al. | Clinical characteristics of spondyloarthritis patients in Japan in comparison to other regions of the world | J Rheumatol | 46(8) | 896-903 | 2019 |
| van der Heijde, Song IH, Pangan A, Deodhar A, Vanden Bosch F, Maksymowych WP, Kivimäki TH, Kishimoto M, et al. | Efficacy and safety of upadacitinib in patients with active ankylosing spondylitis (SELECT-Axis 1): a multicentre, randomised, double-blind, placebo-controlled, phase 2/3 trial. | Lancet | 394 | 2108-2117 | 2019 |
| Lau CS, Chia F, Dans L, Harrison A, Hsieh TY, Jatin R, Jung SM, Kishimoto M, et al. | Update of the APLAR recommendations for treatment of rheumatoid arthritis. | Int J Rheum Dis | 22(3) | 357-375 | 2019 |
| Kida T, Umemura A, Kaneshita S, Sagawa R, Inoue T, Toyama S, Wada M, Kohno M, Oda R, Inaba T, Isetoh Y, Kawahito Y. | Effectiveness and safety of chronic hepatitis C treatment with direct-acting antivirals in patients with rheumatic diseases: A case-series. | Mod Rheumatol | | 1-7 | 2019 |

| | | | | | |
|--|---|---------------------|-------|-----------------------|------|
| Sobue Y, Kojima T, Funahashi K, Okui N, Takahashi N, Asai S, Terabe K, Nishiume T, Suzuki M, Yokota Y, Ohashi Y, Ishiguro N. | Relationship between disease activity of rheumatoid arthritis and development of locomotive syndrome: A five-year longitudinal cohort study. | Mod Rheumatol. | | 1-17 | 2020 |
| Hattori K, Hirano Y, Kanayama Y, Hattori Y, Kato T, Takahashi N, Ishiguro N, Kojima T. | Efficacy of add-on iguratimod in patients with rheumatoid arthritis who inadequately respond to either tocilizumab or tumor necrosis factor alpha inhibitors. | Mod Rheumatol. | | 1-8 | 2020 |
| Takemoto T, Takahashi N, Kida D, Kaneko A, Hirano Y, Fujibayashi T, Kanayama Y, Hanabayashi M, Yabe Y, Takagi H, Oguchi T, Kato T, Funahashi K, Matsumoto T, Sobue Y, Nishiume | Improvement in matrix metalloproteinase-3 independently predicts low disease activity at 52 weeks in bio-switch rheumatoid arthritis patients treated with abatacept. | Clin Exp Rheumatol. | | Online ahead of print | 2020 |
| Suzuki M, Takahashi N, Sobue Y, Ohashi Y, Kishimoto K, Hattori K, Ishiguro N, Kojima T. | Hyaluronan suppresses enhanced cathepsin K expression via activation of NF-kappaB with mechanical stress loading in a human chondrocytic HCS-2/8 cells. | Sci Rep. | 10(1) | 216 | 2020 |
| Hattori K, Hirano Y, Kanayama Y, Takahashi N, Ishiguro N, Kojima T. | Predictors of denosumab efficacy in treating osteoporosis in patients with rheumatoid arthritis: a Japanese multicenter study. | Nagoya J Med Sci. | 81(4) | 571-585 | 2019 |

| | | | | | |
|---|---|-------------------|--------|-----------------------|------|
| Suzuki M, Takahashi N, Kida D, Hirano Y, Kato T, Yabe Y, Oguchi T, Fujibayashi T, Hayashi M, Asai S, Ishiguro N, Kojima T. | Clinical effectiveness and safety of additional administration of tacrolimus in rheumatoid arthritis patients with an inadequate response to abatacept: A retrospective cohort study. | Int J Rheum Dis. | 22(12) | 2199-2205 | 2019 |
| Sobue Y, Kojima T, Funahashi K, Okui N, Mizuno M, Takahashi N, Asai S, Asai N, Matsumoto T, Nishihime T, Suzuki M, Ishiguro N. | Relationship between rheumatoid arthritis and locomotive syndrome: validation of the 25-question Geriatric Locomotive Function Scale in patients with rheumatoid arthritis. | Nagoya J Med Sci. | 81(3) | 453-462 | 2019 |
| Asai N, Asai S, Takahashi N, Ishiguro N, Kojima T. | Factors associated with osteophyte formation in patients with rheumatoid arthritis undergoing total knee arthroplasty. | Mod Rheumatol. | | Online ahead of print | 2019 |
| Asai S, Takahashi N, Asai N, Yamashita S, Terabe K, Matsumoto T, Sobue Y, Nishiume T, Suzuki M, Ishiguro N, Kojima T. | Characteristics of patients with rheumatoid arthritis undergoing primary total joint replacement: A 14-year trend analysis (2004-2017). | Mod Rheumatol. | | Online ahead of print | 2019 |
| Ogawa Y, Takahashi N, Kaneko A, Hirano Y, Kanayama Y, Yabe Y, Oguchi T, Fujibayashi T, Takagi H, Hanabayashi M, Funahashi K, Hayashi M, Tsuboi S, Asai S, Asai N, Matsumoto T, Sobue Y, Ishiguro N, Kojima T. | Association between seropositivity and discontinuation of tumor necrosis factor inhibitors due to ineffectiveness in rheumatoid arthritis. | Clin Rheumatol. | 38(10) | 2757-2763 | 2019 |

| | | | | | |
|--|--|---------------------|---------|-----------|------|
| Takahashi N, Kojima T, Kida D, Kamekura A, Hirano Y, Fujibayashi T, Yabe Y, Takagishi H, Oguchi T, Hanabusa M, Kato T, Funahashi K, Hayashi M, Tsuboi S, Kanayama Y, Sobue Y, Asai N, Matsumoto T, Watanabe T, Asai S, Ishiguro N. | Concomitant methotrexate has little effect on clinical outcomes of abatacept in rheumatoid arthritis: a propensity score matching analysis. | Clin Rheumatol. | 38(9) | 2451-2459 | 2019 |
| Kojima M, Nakayama T, Tsutani K, Igarashi A, Kojima T, Suzuki S, Miyasaka N, Yamana H. | Epidemiological characteristics of rheumatoid arthritis in Japan: Prevalence estimates using a nationwide population-based questionnaire survey. | Mod Rheumatol. | | 1-7 | 2019 |
| Nakano K, Saito K, Nawata A, Hanami K, Kubo S, Miyagawa I, Fujino Y, Nakayamada S, Tanaka Y. | Clinical aspects in patients with rheumatoid arthritis complicated with lymphoproliferative disorders without regression after methotrexate withdrawal and treatment for arthritis after regression of lymphoproliferative disorders | Modern Rheumatology | | 1-17 | 2020 |
| Suzuki Y, Sugiyama N, Fukuma Y, Sugiyama N, Takeshi Kokubo T. | Safety and effectiveness of high-dose methotrexate (over 8mg/week) in 2838 Japanese patients with rheumatoid arthritis: a postmarketing surveillance report. | Mod Rheumatol | Vol. 30 | 24-35 | 2019 |

| | | | | | |
|---|---|------------------------------------|--------------|----------------|-------------|
| <p>Kameda H, Fujii T, Nakajima A, Koike R, Sagawa A, Kanbe K, Tomita T, Harigai M, Suzuki Y, Japan College of Rheumatology subcommittee on the guideline for the use of methotrexate in patients with rheumatoid arthritis.</p> | <p>Japan College of Rheumatology guideline for the use of methotrexate in patients with rheumatoid arthritis.</p> | <p>Mod Rheumatol</p> | <p>29(1)</p> | <p>31-40</p> | <p>2019</p> |
| <p>Nogi S, Sato S, Sasaki S, Tomomatsu K, Narayama C, Ikeda M, Nakamura N, Suzuki Y.</p> | <p>Iatrogenic immunodeficiency-associated latent Epstein-Barr virus-related lymphomatoid granulomatosis initial presenting as unusual gynecocological manifestations in a case of rheumatoid arthritis- a case report and review.</p> | <p>Mod Rheumatol. Case Reports</p> | <p>3(1)</p> | <p>5-9</p> | <p>2019</p> |
| <p>Murata K, Hashimoto M, Yamamoto W, Son Y, Amuro H, Nagai K, Takeuchi T, Katayama M, Maeda Y, Ebina K, Hara R, Jinno S, Onishi A, Murakami K, Tanaka M, Ito H, Mimori T, Matsuda S.</p> | <p>The family history of rheumatoid arthritis in anti-cyclic citrullinated peptide antibody-positive patient is not a predictor of poor clinical presentation and treatment response with modern classification criteria and treatment strategy: the ANSWER cohort study.</p> | <p>Rheumatology international</p> | <p>40(2)</p> | <p>217-225</p> | <p>2020</p> |

| | | | | | |
|---|---|--------------------------------------|--------|-----------|------|
| Doi K, Ito H, Tomizawa T, Murata K, Hashimoto M, Tanaka M, Murakami K, Nishitani K, Azukizawa M, Okahata A, Saito M, Mimori T, Matsuda S. | Oral steroid decreases the progression of joint destruction of large joints in the lower extremities in rheumatoid arthritis. | Medicine | 98(47) | e17968 | 2019 |
| Ishikawa Y, Hashimoto M, Ito H, Tanaka M, Yukawa N, Fujii T, Yamamoto W, Mimori T, Terao C. | Anti-nuclear antibody development is associated with poor treatment response to biological disease-modifying antirheumatic drugs in patients with rheumatoid arthritis. | Seminars in arthritis and rheumatism | 49(2) | 204-210 | 2019 |
| Ishikawa Y, Ikarashi K, Hashimoto M, Ohmura K, Tanaka M, Ito H, Taniguchi A, Yamamoto H, Mimori T, Terao C. | Shared epitope defines distinct associations of cigarette smoking with levels of anticitrullinated protein antibody and rheumatoid factor. | Annals of the rheumatic diseases | 78(11) | 1480-1487 | 2019 |

| | | | | | |
|--|--|--|--------------|------------------------------|-------------|
| <p>Kawahara R, Nakabo S, Shimizu M, Yamamoto H, Sasai T, Nishida Y, Funakoshi S, Gonn Y, Taniguchi M, Nakajima T, Hiwa R, Hashimoto M, Tomizawa T, Azukizawa M, Nishitani K, Murata K, Tanaka M, Ito H, Mimori T, Fujii Y.</p> | <p>Feasibility of patient-oriented ultrasound joint selection: Cross-sectional observational study on rheumatoid arthritis.</p> | <p>Modern rheumatology</p> | | <p>Online ahead of print</p> | <p>2019</p> |
| <p>Matsuo T, Hashimoto M, Ito I, Kubo T, Uozumi R, Furu M, Ito H, Fujii T, Tanaka M, Terao C, Konoh H, Mori M, Hamauchi M, Yamamoto W, Ohmura K, Morita S, Mimori T.</p> | <p>Interleukin-18 is associated with the presence of interstitial lung disease in rheumatoid arthritis: a cross-sectional study.</p> | <p>Scandinavian journal of rheumatology</p> | <p>48(2)</p> | <p>87-94</p> | <p>2019</p> |
| <p>Murata K, Ito H, Hashimoto M, Nishitani K, Murakami K, Tanaka M, Yamamoto W, Mimori T, Matsuda S.</p> | <p>Elderly onset of early rheumatoid arthritis is a risk factor for bone erosions, refractory to treatment: KURAMA cohort.</p> | <p>International journal of rheumatic diseases</p> | <p>22(6)</p> | <p>1084-1093</p> | <p>2019</p> |
| <p>Okahata A, Ito H, Furu M, Ishikawa M, Fujii T, Hashimoto M, Tanaka M, Morita Y, Azukizawa M, Tomizawa T, Doi K, Nishitani K, Murata K, Yoshitomi H, Mimori T, Matsuda S.</p> | <p>Soluble Lectin-like Oxidized Low-Density Lipoprotein Receptor 1 Predicts the Changes of Rheumatoid Factor Titers in Rheumatoid Arthritis.</p> | <p>Journal of clinical rheumatology</p> | | <p>Online ahead of print</p> | <p>2019</p> |

| | | | | | |
|--|--|------------------------------|------------|---------|------|
| Tomizawa T, Ito H, Murata K, Hashimoto M, Tanaka M, Murakami K, Nishitani K, Azukizawa M, Okahata A, Doi K, Saito M, Furu M, Hamaguchi M, Mimori T, Matsuda S. | Distinct biomarkers for different bones in osteoporosis with rheumatoid arthritis. | Arthritis research & therapy | 21(1) | 174 | 2019 |
| 中山健夫 | 診療ガイドラインの今・これから | 東京女子医科大学雑誌 | 88 (Extra) | E2-E9 | 2018 |
| 上田佳代、五十嵐稔子、中山健夫 | 根拠に基づく医療 (EBM) や診療ガイドラインとの上手な付き合い方 | 助産雑誌 | 72(12) | 916-22 | 2018 |
| 中山健夫 | エビデンスに基づくリスク・ベネフィットのコミュニケーション：SDM (共有意思決定に向けて) | 薬学雑誌 | 138 (3) | 331-4 | 2018 |
| 西田圭一郎 | 関節リウマチ | 月刊ナーシング | 40 巻 3 号 | 40-43 | 2020 |
| 松山宜之、中原龍一、那須義久、岡佳純、千田益生、西田圭一郎 | RA手指変形—MCP関節人工関節置換術のリハビリテーションについて | MB Med Reha | 244 | 1-7 | 2020 |
| 松山宜之、中原龍一、那須義久、西田圭一郎 | RA手のリハビリテーション | 臨床リウマチ | 31 | 259-265 | 2019 |
| 西田圭一郎 | リウマチ性疾患・感染症 | 整形外科 | 70 巻 7 号 | 801-807 | 2019 |

| | | | | | |
|--|--|-------------------|--------|---------|------|
| 佐藤康晴, 祇園由佳, 西田圭一郎, 吉野 正 | その他の医原性免疫不全関連リンパ増殖性疾患 | 病理と臨床・別冊 | 37巻4号 | 360-363 | 2019 |
| Tsuji H, Tetsunaga T, Tetsunaga T, Nishida K, Misawa H, Ozaki T | The factors driving self-efficacy in intractable chronic pain patients: a retrospective study | J Orthop Surg Res | 14(1) | 473 | 2019 |
| Ito H, Tsuji S, Nakayama M, Mochida Y, Nishida K, Ishikawa H, Kojima T, Matsumoto T, Kubota A, Mochizuki T, Sakuraba K, Matsushita I, Nakajima A, Hara R, Haraguchi A, Matsubara T, Kanbe K, Nakagawa N, Hamaguchi M, Momohara S, and JOSRA consortium | Does abatacept increase postoperative adverse events in rheumatoid arthritis compared with conventional synthetic disease-modifying drugs? | J Rheumatol | 47(4) | 502-509 | 2019 |
| Horita M, Nishida K, Hasei J, Furumatsu T, Sakurai M, Onodera Y, Fukuda K, Salter DM, Ozaki T | Involvement of ADAM12 in chondrocyte differentiation by regulation of TGF- β 1-induced IGF-1 and RUNX-2 expression | Calcif Tissue Int | 105(1) | 97-106 | 2019 |
| Horita M, Nishida K, Ozaki T | Prevalence of and risk factors for the progression of upper cervical lesions in patients with rheumatoid arthritis | Acta Med Okayama | 73(3) | 235-240 | 2019 |
| Hiranaka T, Nishida K, Konishiike T, Ozaki T, Mikasa M | Tuberosity-overlapping fixation on the humeral shaft in the humeral head replacement surgery | Acta Med Okayama | 73(4) | 299-305 | 2019 |

| | | | | | |
|---|---|-------------------|---------|---------|------|
| Oi K, Tokunaga T, Kuranobu T, Yukawa K, Kohno H, Yoshida Y, Mokuda S, Hirata S, Sugiyama E. | Tumour necrosis factor alpha augments the inhibitory effects of CTLA-4-Ig on osteoclast generation from human monocytes via induction of CD80 expression. | Clin Exp Immunol. | 196 (3) | 392-402 | 2019 |
| Tsuji H, Ikari K, Ohmura K, Yanagisawa K, Furu M, Hashimoto M, Ito H, Fujii T, Yamamoto W, Taniguchi A, Yamanaka H, Mimori T, and Terao C. | Significant joint-destructive association of HLA-DRB1*04:05 independent of DAS28 in rheumatoid arthritis | Ann Rheum Dis. | 78 (2) | 284-286 | 2019 |
| Kameda H, Fujii T, Nakajima A, Koike R, Sagawa A, Kanbe K, Tomita T, Harigai M, Suzuki Y, and Japan College of Rheumatology subcommittee on the guideline for the use of methotrexate in patients with rheumatoid arthritis | Japan College of Rheumatology guideline for the use of methotrexate in patients with rheumatoid arthritis | Mod Rheumatol. | 29 | 31-40 | 2019 |
| Mimori T, Harigai M, Atsumi T, Fujii T, Kuwana M, Matsuno H, Momohara S, Takei S, Tamura N, Takasaki Y, Yamamoto K, Ikeuchi S, Kushimoto S, and Koike T | Safety and effectiveness of iguratimod in patients with rheumatoid arthritis: Final report of a 52-week, multicenter postmarketing surveillance study | Mod Rheumatol. | 29 | 314-323 | 2019 |
| Ishigooka N, Fujii T, Abe H, Murakami K, Nakashima R, Hashimoto M, Yoshifuji H, Tanaka M, Ito H, Ohmura K, Morita S, and Mimori T | Predicting factors for disappearance of anti-citrullinated vimentin antibodies in sera of patients with rheumatoid arthritis | Mod Rheumatol | 30 (3) | 450-247 | 2020 |

| | | | | | |
|---|--|---------------------|-------|-----------|------|
| Torii M, Hashimoto M, Hanai A, Fujii T, Furu M, Ito H, Uozumi R, Hamaguchi M, Terao C, Yamamoto W, Uda M, Nin K, Morita S, Arai H, and Mimori T | Prevalence and factors associated with sarcopenia in patients with rheumatoid arthritis | Mod Rheumatol. | 29 | 589-595 | 2019 |
| Tsuji H, Hashimoto M, Harada T, Tanaka M, Ito H, Murakami K, Ohmura K, Fujii T, and Mimori T | Persistent anemia and hypoalbuminemia in rheumatoid arthritis patients with low serum triiodothyronine level | Mod Rheumatol. | | 1-8 | 2019 |
| Nakagami Y, Sugihara G, Takei N, Fujii T, Hashimoto M, Murakami K, Furu M, Ito H, Uda M, Torii M, Nin K, Murai T, and Mimori T | Effect of physical state on pain mediated through emotional health in rheumatoid arthritis | Arthritis Care Res. | 71(9) | 1216-1223 | 2019 |
| Murakami I, Murakami K, Hashimoto M, Tanaka M, Ito H, Fujii T, Torii M, Ikeda K, Kuwabara A, Tanaka K, Yoshida A, Akizuki S, Nakashima R, Yoshifuji H, Ohmura K, Usui T, Morita S, and Mimori T | Intake frequency of vegetables or seafoods negatively correlates with disease activity of rheumatoid arthritis | PLoS One | 15 | e0228852 | 2020 |
| 松下 功 | 関節リウマチの画像診断 | 臨床リウマチ | 31 | 88-97 | 2019 |

| | | | | | |
|--|---|---------------|-------|--------------------------|------|
| 松下 功 | 薬物の特性とその効果的 処方 抗リウマチ薬 | MB Orthop | 32 | 155-162 | 2019 |
| 元村 拓, 松下 功, 平岩利仁, 関 英子, 木村友厚 | 関節リウマチ患者におけ る長期の骨密度変化 | 臨床リウマチ | 31 | 98-103 | 2019 |
| Kaneko Y, Kawahi to Y, Kojima M, Nakayama T, Hira ta S, Kishimoto M, Endo H, Seto Y, Ito H, Nishid a K, Matsushita I, Kojima T, Kam atani N, Tsutani K, Igarashi A, Hasegawa M, Miya saka N, Yamanaka H. | Efficacy and safety of tacrolimus in patient s with rheumatoid arth ritis - A systematic r eview and meta-analysi s | Mod Rheumatol | | Online ahead of print | 2020 |
| Saito J, Yakuwa N, Takai C, Kane ko K, Goto M, Na kajima K, Yamata ni A, Murashima A. | Abatacept concentratio ns in maternal serum a nd breast milk during breastfeeding and an i nfant safety assessmen t: a case study. | Rheumatology | 58(9) | 1692-1694 | 2019 |
| Saito J, Yakuwa N, Kaneko K, Tak ai C, Goto M, Na kajima K, Yamata ni A, Murashima A. | Tocilizumab during pre gnancy and lactation: drug levels in materna l serum, cord blood, b reast milk and infant serum. | Rheumatology | 58(8) | 1505-1507 | 2019 |

| | | | | | |
|---|--|---------------------|--------|-----------------------|------|
| Saito J, Yakuwa N, Kaneko K, Nakajima K, Takai C, Goto M, Yamatani A, Murashima A. | Clinical application of the dried milk spot method for measuring tocilizumab concentrations in the breast milk of patients with rheumatoid arthritis. | Int J Rheum Dis. | 22(6) | 1130-1137 | 2019 |
| Tsuda S, Sameshima A, Sekine M, Kawaguchi H, Fujita D, Makino S, Morinobu A, Murakawa Y, Matsui K, Sugiyama T, Watanabe M, Suzuki Y, Nagahori M, Murashima A, Atsumi T, Oku K, Mitsuda N, Takei S, Miyamae T, Takahashi N, Nakajima K, Saito S; Ministry of Health Labour and Welfare Working Group for "Guideline for The Treatment of Rheumatoid Arthritis or Inflammatory Bowel Disease Bearing Women in Child-bearing Age". | Pre-conception status, obstetric outcome and use of medications during pregnancy of systemic lupus erythematosus (SLE), rheumatoid arthritis (RA) and inflammatory bowel disease (IBD) in Japan: Multi-center retrospective descriptive study. | Mod Rheumatol. | | Online ahead of print | 2019 |
| Saito J, Kaneko K, Yakuwa N, Kawasaki H, Yamatani A, Murashima A | Rivaroxaban Concentration in Breast Milk During Breastfeeding: A Case Study. | Breastfeed Med. | 14(10) | 748-751 | 2019 |
| Onishi A, Kamitsuji S, Nishida M, Uemura Y, Takahashi M, Saito T, Yoshida Y, Kobayashi M, Kawatani M, Nishimura K, Misaki K, Nobuyuhara Y, Nakazawa T, Hatachi S, Tsuji G, Morinobu A, Kumagai S. | Genetic and clinical prediction models for the efficacy and hepatotoxicity of methotrexate in patients with rheumatoid arthritis: a multicenter cohort study. | Pharmacogenomics J. | | Online ahead of print | 2019 |

| | | | | | |
|--|---|-----------------------|----------|-----------|------|
| Yatomi A, Mori S, Kawauchi H, Shihono A, Shimoyama S, Tanaka H, Okano T, Inoue T, Jimbo N, Morinobu A, Hirata KI. | Predominant Involvement of the Aortic Root in a Patient with Antineutrophil Cytoplasmic Antibody-associated Vasculitis: Congestive Heart Failure due to Subacute Severe Aortic Regurgitation and Reversible Conduction Disturbance. | Intern Med. | 59(5) | 663-671 | 2019 |
| Kageyama G, Onishi A, Ueda Y, Nakajima I, Tsuda K, Okano T, Akashi K, Nishimura K, Sendo S, Saegusa J, Morinobu A. | Subjective well-being among rheumatoid arthritis patients. | Int J Rheum Dis | 22(10) | 1863-1870 | 2019 |
| Sendo S, Saegusa J, Yamada H, Nishimura K, Morinobu A. | Tofacitinib facilitates the expansion of myeloid-derived suppressor cells and ameliorates interstitial lung disease in SKG mice. | Arthritis Res Ther | 21(1) | 184 | 2019 |
| Waki D, Onishi A, Morinobu A. | Large vessel vasculopathy in a patient with systemic lupus erythematosus: a case report. | J Med Case Rep | 13 (1) | 189 | 2019 |
| Takahashi S, Saegusa J, Onishi A, Morinobu A. | Biomarkers identified by serum metabolomic analysis to predict biologic treatment response in rheumatoid arthritis patients. | Rheumatology (Oxford) | 58(12) | 2153-2161 | 2019 |
| Ueda Y, Saegusa J, Okano T, Sendo S, Yamada H, Nishimura K, Morinobu A. | Additive effects of inhibiting both mTOR and glutamine metabolism on the arthritis in SKG mice. | Sci Rep. | 9 | 6374 | 2019 |

| | | | | | |
|---|--|-------------------|--------|-----------------------|------|
| Yamasaki G, Okano M, Nakayama K, Jimbo N, Sendo S, Tamada N, Misaki K, Shinkura Y, Yanaka K, Tanaka H, Akashi K, Morinobu A, Yokozaki H, Emoto N, Hirata KI. | Acute Pulmonary Hypertension Crisis after Adalimumab Reduction in Rheumatoid Vasculitis. | Intern Med. | 58(4) | 593-601 | 2019 |
| Shono A, Mori S, Nakamura K, Yatomomi A, Takada H, Tanaka H, Okano T, Morinobu A, Hirata KI. | Glucocorticoid-Sensitive Paroxysmal Atrial Fibrillation, Sick Sinus Syndrome, and Mitral Regurgitation in a Patient with Malignant Rheumatoid Vasculitis. | Intern Med | 58(21) | 3093-3098 | 2019 |
| Shimizu M, Umebayashi H, Mori M. | Tocilizumab modifies clinical and laboratory features of macrophage activation syndrome complicating systemic juvenile idiopathic arthritis. | Pediatr Rheumatol | 18 | 2-8 | 2020 |
| Matsumoto T, Matsui T, Hirano F, Tohma S, Mori M. | Disease activity, treatment and long-term prognosis of adult juvenile idiopathic arthritis patients compared with rheumatoid arthritis patients. | Mod Rheumatol | 30(1) | 78-84 | 2020 |
| Tanaka Y, Kuwana M, Fujii T, Kamada H, Muro Y, Fujio K, Itoh Y, Yasuoka H, Fukaya S, Ashihara K, Hirano D, Ohmura K, Tabuchi Y, Hasegawa H, Matsumiya R, Shirai Y, Ogura T, Tsuchida Y, Ogawa-Momohara M, Narazaki H, Inoue Y, Miyagawa I, Nakanishi K, Hirata S, Mori M. | 2019 Diagnostic criteria for mixed connective tissue disease (MCTD): From the Japan research committee of the ministry of health, labor, and welfare for systemic autoimmune diseases. | Mod Rheumatol | | Online ahead of print | 2019 |

| | | | | | |
|--|--|--------------------|-------|---------|------|
| Kobayashi I, Akioka S, Kobayashi N, Iwata N, Takazaki S, Nakaseko H, Sato S, Nishida Y, Nozawa T, Yamasaki Y, Yamazaki K, Arai S, Nishino I, Mori M. | Clinical practice guidance for juvenile dermatomyositis (JDM) 2018 Update. | Mod Rheumatol | 30(3) | 411-423 | 2019 |
| Yamazaki S, Shimbo A, Akutsu Y, Takase H, Morio T, Mori M. | Importance of pediatric rheumatologists and transitional care for juvenile idiopathic arthritis-associated uveitis: a retrospective series of 9 cases. | Pediatr Rheumatol. | 18(1) | 26 | 2020 |
| Kizawa T, Umebayashi H, Mori M. | Clinical Guidance for Abatacept of Juvenile Idiopathic Arthritis. | Mod Rheumatol | | | 2020 |
| Yamazaki K, Mori M. | External validation of the EULAR/ACR idiopathic inflammatory myopathies classification criteria with Japanese paediatric cohort. | Rheumatology | | | 2020 |
| Okamoto N, Yokota S, Takei S, Okura Y, Kubota T, Shimizu M, Nozawa T, Iwata N, Umebayashi H, Kinjo N, Kunishima T, Yasumura J, Mori M. | Clinical practice guidance for juvenile idiopathic arthritis (JIA) 2018. | Mod Rheumatol | 29(1) | 41-59 | 2019 |

| | | | | | |
|--|--|-----------------------------|-------|---------|------|
| Yasumura J, Yashiro M, Okamoto N, Shabana K, Umebayashi H, Iwata N, Okura Y, Kubota T, Shimizu M, Tomiita M, Nishikagishi Y, Nishimura K, Hara R, Mizuta M, Yasumi T, Yamaide F, Wakiguchi H, Kobayashi M, Mori M. | Clinical features and characteristics of uveitis associated with juvenile idiopathic arthritis in Japan: first report of the pediatric rheumatology association of Japan (PRAJ). | Pediatr Rheumatol | 17(1) | 15-24 | 2019 |
| Hara R, Umebayashi H, Takei S, Okamoto N, Iwata N, Yamasaki Y, Nishikagishi Y, Kizawa T, Kobayashi I, Imagawa T, Kinjo N, Amano N, Takahashi Y, Mori M, Itoh Y, Yokota S. | Intravenous abatacept in Japanese patients with polyarticular-course juvenile idiopathic arthritis: results from a phase III open-label study. | Pediatr Rheumatol Online J. | 17(1) | 17 | 2019 |
| Miyamae T, Hanaya A, Kawamoto M, Tani Y, Kawaguchi Y, Yamanaka H. | Diagnostic Rate of Autoinflammatory Diseases Evaluated by Fever Patterns in Pediatric and Adult-Onset Patients. | J Clin Rheumatol. | 26(2) | 60-62 | 2020 |
| Tani Y, Kishi T, Miyamae T, Kawamoto M, Kawaguchi Y, Taniguchi A, Yamanaka H. | The evaluation of gene polymorphisms associated with autoinflammatory syndrome in patients with palindromic rheumatism complicated by intermittent hydrarthrosis. | Clin Rheumatol. | 39 | 841-845 | 2020 |
| Miyamae T, Tani Y, Kishi T, Yamanaka H, Singh G. | Updated version of Japanese Childhood Health Assessment Questionnaire (CHAQ). | Mod Rheumatol. | 19 | 1-5 | 2019 |

| | | | | | |
|---|--|-----------------------|------------------------|---------|------|
| Murakami I, Murakami K, Hashimoto M, Tanaka M, Ito H, Fujii T, Torii M, Ikeda K, Kuwabara A, Tanaka K, Yoshida A, Akizuki S, Nakashima R, Yoshifuji H, Ohmura K, Usui T, Morita S, and Mimori T | Intake frequency of vegetables or seafoods negatively correlates with disease activity of rheumatoid arthritis | PLoS One | 15 (2) | | 2020 |
| Kojima T, Ishikawa H, Tanaka S, Haga N, Nishida K, Yukioka M, Hashimoto J, Miyahara H, Niki Y, Kimura T et al. | Relationship between the physician-based clinical scale for foot and ankle surgery and patient-reported outcomes in patients with long-standing rheumatoid arthritis: Results from a multicenter prospective observational cohort study. | Modern rheumatology | Online ahead of print. | 1-7 | 2020 |
| Kida D, Takahashi N, Kaneko A, Hirano Y, Fujibayashi T, Kanayama Y, Hanabayashi M, Yabe Y, Takagi H, Oguchi T et al. | retrospective analysis of the relationship between anti-cyclic citrullinated peptide antibody and the effectiveness of abatacept in rheumatoid arthritis patients. | Scientific reports | 10 (1) | 19717 | 2020 |
| Honda S, Harigai M. | The safety of baricitinib in patients with rheumatoid arthritis. | Expert Opin Drug Saf. | 19 (5) | 545-551 | 2020 |
| 山崎 晋、森 雅亮. | IgA血管炎の病態、診断と治療. | リウマチ科 | 64 | 736-743 | 2020 |

| | | | | | |
|--|---|---------------------|-------|----------|------|
| Tanaka Y, Kuwana M, Fujii T, Kamada H, Muro Y, Fujio K, Itoh Y, Yasuoka H, Fukaya S, Ashihara K, Hirano D, Ohmura K, Tabuchi Y, Hasegawa H, Matsumiya R, Shirai Y, Ogura T, Tsuchida Y, Ogawa-Momohara M, Narazaki H, Inoue Y, Miyagawa I, Nakano K, Hirata S, Mori M. | 2019 Diagnostic criteria for mixed connective tissue disease (MCTD): From the Japanese research committee of the ministry of health, labor, and welfare for systemic autoimmune diseases. | Mod Rheumatol. | 31(1) | 29-33 | 2020 |
| Yamaguchi A, Hirata S, Kubo S, Fukukuyo S, Hanami K, Nakano K, Nakayama S, Saito K, Tanaka Y. | 5-year remission rate after the discontinuation of adalimumab in patients with rheumatoid arthritis: Long-term follow-up results of the HONOR study | Mod Rheumatol | 30(5) | 799-806. | 2020 |
| Oh K, Furuya T, Inoue E, Tanaka E, Ikari K, Taniguchi A, Yamanaka H, Okazaki K, Harigai M. | A simple screening test to assess risk of falls in Japanese patients with rheumatoid arthritis: Results from the IORRA cohort study. | Mod Rheumatol. | 31(2) | 506-509 | 2021 |
| Nakabo S, Ohmura K, Akizuki S, Murakami K, Nakashima R, Hashimoto M, Yoshifuji H, Tanaka M, Mimori T. | Activated neutrophil carbamylates albumin via the release of myeloperoxidase and reactive oxygen species regardless of NETosis. | Modern rheumatology | 30(2) | 345-9 | 2020 |
| Nakayama M, Furuya T, Inoue E, Tanaka E, Ikari K, Taniguchi A, Yamanaka H, Harigai M. | Adherence to denosumab for the treatment of osteoporosis in Japanese patients with rheumatoid arthritis: Results from the IORRA cohort study. | Mod Rheumatol. | 31(2) | 510-513 | 2021 |

| | | | | | |
|---|---|----------------------|------------------------|-----------|------|
| Utsunomiya M, Dobashi H, Odani T, Saito K, Yokogawa N, Nagasaka K, Takenaka K, Soejima M, Sugihara T, Hagiyaama H, Hirata S, Matsui K, Nonomura Y, Kondo M, Suzuki F, Nawata Y, Tomita M, Kihara M, Yokoyama-Kokuryo W, Hirano F, Yamazaki H, Sakai R, Nanki T, Koike R, Miyasaka N, Harigai M. | An open-label, randomized controlled trial of sulfamethoxazole-trimethoprim for <i>Pneumocystis</i> prophylaxis: results of 52-week follow-up. | Rheumatol Adv Pract. | 4(2) | rkaa029 | 2020 |
| Kaneko Y, Sato M, Cai Z, Sato M. | Assessment of discordance of treatment satisfaction between patients with rheumatoid arthritis in low disease activity or in remission and their treating physicians: A cross-sectional survey. | Mod Rheumatol | 31(2) | 326-333 | |
| Kondo-Ishikawa S, Fujii T, Ishigooka N, Murakami K, Nakashima R, Hashimoto M, Yoshifuji H, Tanaka M, Ohmura K, Mimori T. | Association of anti-NC2 and U1RNP antibodies with neurotoxic inflammatory mediators in cerebrospinal fluid from patients with neuropsychiatric systemic lupus erythematosus. | Lupus | 29(13) | 1673-82 | 2020 |
| Honda S, Sakai R, Inoue E, Majima M, Konda N, Takada H, Kihara M, Yajima N, Nanki T, Yamamoto K, Takeuchi T, Harigai M. | Association of methotrexate use and lymphoproliferative disorder in patients with rheumatoid arthritis: Results from a Japanese multi-institutional retrospective study. | Mod Rheumatol. | Online ahead of print. | | 2021 |
| Shirai Y, Honda S, Ikari K, Kanai M, Takeda Y, Kitamatani Y, Morisaki T, Tanaka E, Kumanogoh A, Harigai M, Okada Y. | Association of the <i>IRFAP3-UMAD1</i> locus with interstitial lung diseases complicated with rheumatoid arthritis in Japanese. | Ann Rheum Dis. | 79(10) | 1305-1309 | 2020 |

| | | | | | |
|--|---|-----------------------------------|------------------------|---------|------|
| Yamada H, Kaneko Y, Tamai H, Takeuchi T. | Biomarkers for disease flare in patients with adult-onset Still's disease undergoing treatment with tocilizumab. | Rheumatology (Oxford). | 59 (2) | 440-442 | 2020 |
| Inai R, Nakahara R, Morimitsu Y, Akagi N, Marukawa Y, Matsushita T, Tanaka T, Tamada A, Hiraki T, Nasu Y, Nishida K, Ozaki T, Kanazawa S. | Bone microarchitectural analysis using ultrahigh-resolution CT in tiger vertebra and human tibia | Eur Radiol Exp | 4 | | 2020 |
| Ito Y, Matsuzaki T, Ayabe F, Mokuuda S, Kurimoto R, Matsushima T, Tabata Y, Inotsume M, Tsutsumi H, Liu L, Shinohara M, Tanaka Y, Nakamichi R, Nishida K, Lotz MK, Asahara H | Both microRNA-455-5p and -3p repress hypoxia-inducible factor-2 α expression and coordinately regulate cartilage homeostasis | Nature Communications | in press | | |
| Takanashi S, Kaneko Y, Takeuchi T. | CDAI and DAS28 in the management of rheumatoid arthritis in clinical practice. | Ann Rheum Dis | 79 (5) | 671-674 | 2020 |
| Nishisho R, Kushi S, Sotani N, Kim KW, Katsuyama-Yoshikawa A, Matsumiya W, Akashi K, Morinobu A, Nakamura M. | Changes in choroidal imaging parameters following adalimumab therapy for refractory noninfectious uveitis. | Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. | Online ahead of print. | | 2021 |
| Kay J, Harigai M, Rancourt J, Demickson C, Melby T, Issa M, de la Torre I, Isaka Y, Cardoso A, Saifan C, Keystone EC, van Vollenhoven RF, Giles JT, Huizinga TW, Kremer JM. | Changes in selected dermatological parameters associated with JAK1/JAK2 inhibition observed in patients with rheumatoid arthritis treated with baricitinib. | RMD Open. | 6 (3) | e001370 | 2020 |

| | | | | | |
|--|--|---------------------|------------------------|---------|------|
| Asai S, Takahashi N, Asai N, Yamashita S, Terabe K, Matsumoto T, Sobue Y, Nishiume T, Suzuki M, Ishiguro N et al. | Characteristics of patients with rheumatoid arthritis undergoing primary total joint replacement: A 14-year trend analysis (2004-2017). | Modern rheumatology | 30 (4) | 657-663 | 2020 |
| Kuramoto N, Saito S, Fujii T, Kaneko Y, Saito R, Tanaka M, Takada H, Nakano K, Saito K, Sugimoto N, Sasaki S, Harigai M, and Suzuki Y | Characteristics of rheumatoid arthritis with immunodeficiency-associated lymphoproliferative disorders to regress spontaneously by the withdrawal of methotrexate and their clinical course: A retrospective, multicenter, case control study | Mod Rheumatol | [Epub ahead of print] | | 2021 |
| Kuramoto K, Saito S, Fuji T, Kaneko Y, Saito R, Tanaka M, Takada H, Nakano K, Saito K, Sugimoto M, Sasaki S, Harigai M, Suzuki Y. | Characteristics of rheumatoid arthritis with immunodeficiency-associated lymphoproliferative disorders to regress spontaneously by the withdrawal of methotrexate and their clinical course: A retrospective, multicenter, case- control study | Mod Rheumatol | Online ahead of print | 1-16. | 2021 |
| Kobayashi I, Akioka S, Kobayashi N, Iwata N, Takazaki S, Nakaseko H, Sato S, Nishida Y, Nozawa T, Yamasaki Y, Yamazaki K, Arai S, Nishino I, Mori M. | Clinical practice guidance for juvenile dermatomyositis (JDM) 2018 Update. | Mod Rheumatol. | 30 (3) | 411-423 | 2020 |
| Tomiita M, Kobayashi I, Mori M. | Clinical practice guidance for Sjögren's syndrome in pediatric patients (2018) - summarized and updated. | Mod Rheumatol. | Online ahead of print. | 1-11 | 2020 |

| | | | | | |
|--|--|-----------------------|------------------------|-----------|------|
| Takada H, Kaneko Y, Nakano K, Tanaka M, Fuji T, Saito K, Sugimoto N, Sasaki S, Shimo S, Saito R, Kuramoto N, Harigai M, Suzuki Y | Clinicopathological Characteristics of Lymphoproliferative Disorders in 232 Patients with Rheumatoid Arthritis in Japan: A Retrospective, Multicenter, Descriptive Study | Mod Rheumatol | Online ahead of print | | 2021 |
| Kadoba K, Watanabe R, Hashimoto M, Morinobu A, Terao C, Yoshifuji H. | Comment on: Different treatment options for Takayasu arteritis patients with moderate-to-severe aortic regurgitation: long-term outcomes. | Rheumatology (Oxford) | Online ahead of print. | | 2021 |
| Jinno S, Onishi A, Dubreuil M, Akashi K, Hashimoto M, Yamamoto W, Murata K, Takeuchi T, Kotani T, Maeda Y, Ebina K, Son Y, Amuro H, Hara R, Katayama M, Saegusa J, Morinobu A. | Comparison of the efficacy and safety of biologic agents between elderly-onset and young-onset RA patients: the ANSWER cohort study. | Rheumatol Int. | 40 (12) | 1987-1995 | 2020 |
| Ito H, Murata K, Sobue Y, Kojima T, Nishida K, Matsushita I, Kawahito Y, Kojima M, Hirata S, Kaneko Y, Kishimoto M, Kohno M, Mori M, Morinobu A, Murashima A, Sentou Y, Sugihara T, Tanaka E, Nakayama T, Harigai M. | Comprehensive risk analysis of postoperative complications in patients with rheumatoid arthritis for the 2020 update of the Japan college of rheumatology clinical practice guidelines for the management of rheumatoid arthritis. | Mod Rheumatol. | Online ahead of print. | | 2021 |
| Watanabe R, Hashimoto M, Morinobu A. | Correspondence on 'The use of tocilizumab and tofacitinib in patients with resolved hepatitis B infection: a case series'. | Ann Rheum Dis. | Online ahead of print. | | 2020 |

| | | | | | |
|---|---|---------------------|------------------------|---------|------|
| 森 雅亮. | COVID-19第2波に備えて出来ること. 新型コロナウイルス感染症と川崎病. | 臨床とウイルス | 48 | 269-274 | 2020 |
| Okazaki Y, Furumatsu T, Kamatsuki Y, Nishida K, Nasu Y, Nakahara R, Saito T, Ozaki T | Differences between the root and horn cells of the human medial meniscus from the osteoarthritic knee in cellular characteristics and responses to mechanical stress | J Orthop Sci. | 26 (2) | 230-236 | 2020 |
| Asai S, Hayashi M, Hanabayashi M, Kanayama Y, Takemoto T, Yabe Y, Shioura T, Ishikawa H, Yoshiozuka Y, Kato T et al. | Discontinuation of concomitant methotrexate in Japanese patients with rheumatoid arthritis treated with tocilizumab: An interventional study. | Modern rheumatology | 30 (3) | 434-441 | 2020 |
| Matsumoto T, Matsui T, Hirano F, Tohma S, Mori M. | Disease activity, treatment and long-term prognosis of adult juvenile idiopathic arthritis patients compared with rheumatoid arthritis patients. | Mod Rheumatol. | 30 (1) | 78-84 | 2020 |
| Asai S, Takahashi N, Asai N, Yamashita S, Terabe K, Matsumoto T, Sobue Y, Nishiume T, Suzuki M, Ishiguro N et al. | Does Abatacept Increase Postoperative Adverse Events in Rheumatoid Arthritis Compared with Conventional Synthetic Disease-modifying Drugs? | J Rheumatol | 47 | 502-9 | 2020 |
| Sobue Y, Kojima T, Ito H, Nishida K, Matsushita I, Kaneko Y, Kishimoto M, Kohno M, Sugihara T, Saito Y, Tanaka E, Nakayama T, Hirata S, Murashima A, Morinobu A, Mori M, Kojima M, Kawahito Y, Harigai M. | Does exercise therapy improve patient-reported outcomes in rheumatoid arthritis? A systematic review and meta-analysis for the update of the 2020 JCR guidelines for the management of rheumatoid arthritis | Mod Rheumatol | Online ahead of print. | | 2021 |

| | | | | | |
|---|---|--------------------------------|------------------------|-----------|------|
| Kida T, Umemura A, Kaneshita S, Sagawa R, Inoue T, Toyama S, Wada M, Kohno M, Oda R, Inaba T, Itoh Y, Kawahito Y. | Effectiveness and safety of chronic hepatitis C treatment with direct-acting antivirals in patients with rheumatic diseases: A case-series. | Mod Rheumatol. | 30(6) | 1009-1015 | 2020 |
| Takahiko Sugihara, Tatsuro Ishizaki, Wataru Onoguchi, Hiroyuki Baba, Takumi Matsumoto, Shoko Igawa, Kanae Kubo, Myari Kamiya, Fumio Hirano, Tadashi Hosoya, Nobuyuki Miyasaka, Masayoshi Harigai. | Effectiveness and safety of treat-to-target strategy in elderly-onset rheumatoid arthritis: a 3-year prospective observational study. | Rheumatology (Oxford, England) | Online ahead of print. | | 2021 |
| Kaneko Y, Kawahito Y, Kojima M, Nakayama T, Hirata S, Kishimoto M, Endo H, Seto Y, Ito H, Nishida K, Matsushita I, Kojima T, Kamatani N, Tsutani K, Igarashi A, Hasegawa M, Miyasaka N, Yamahara H. | Efficacy and safety of tacrolimus in patients with rheumatoid arthritis - A systematic review and meta-analysis. | Mod Rheumatol. | 31(1) | 61-69 | 2021 |
| Hattori K, Hirano Y, Kanayama Y, Hattori Y, Kato T, Takahashi N, Ishiguro N, Kojima T. | Efficacy of add-on iguratimod in patients with rheumatoid arthritis who inadequately respond to either tocilizumab or tumor necrosis factor alpha inhibitors. | Modern rheumatology | 31(1) | 80-87 | 2021 |
| Pile K, Norager R, Skillecorn M, Gibson KA, Elderston S, Favorito W, Li Z, Mu R, Nakahara H, Kishimoto M, Hirata S, Kaneko Y, Lau CS, Tam LS, Chen YH, Chen P, Wahking B, Furtner D. | Elevating the role of carers in rheumatoid arthritis management in the Asia-Pacific region. | Int J Rheum Dis. | 23(7) | 898-910 | 2020 |

| | | | | | |
|--|--|---------------------------------|------------------------------|-------|------|
| Yamazaki K, Akio ka S, Mori M. | External validation of the EULAR/ACR idiopat hic inflammatory myopa thies classification c riteria with Japanese paediatric cohort. | Rheumatology (Oxford). | Online ahead of print. | | 2020 |
| Nakayama M, Fur uya T, Inoue E, Tanaka E, Ikari K, Taniguchi A, Yamanaka H, Hari gai M. | Factors associated wit h osteoporosis medicat ion use in Japanese pa tients with rheumatoid arthritis: Results fr om the Institute of Rh eumatology Rheumatoid Arthritis cohort stud y. | Osteoporos Sarcopenia | 6(2) | 82-87 | 2020 |
| Ichise Y, Saegusa J, Tanaka-Nats ui S, Naka I, Ha yashi S, Kuroda R, Morinobu A. | Fibroblast-Like Synovi al Cells via Toll-Like Receptor 4. | Cells. | 9 (7) | 1689 | 2020 |
| Asai S, Takemoto T, Takahashi N, Oguchi T, Ishig uro N, Kojima T. | Fifteen-year trends in the number and age of patients with rheumat oid arthritis undergoi ng total knee and hip arthroplasty: A compar ison study with osteoa rthritis. | Modern rheumatology | Online ahead of print. | 1-4 | 2020 |
| Murata K, Ito H, Hashimoto M, Mu rakami K, Watana be R, Tanaka M, Yamamoto W, Mats uda S. | Fluctuation in anti-cy elic citrullinated pro tein antibody level pr edicts relapse from re mission in rheumatoid arthritis: KURAMA coh ort. | Arthritis research & therapy | 22(1) | 268 | 2020 |
| Ayako Nakajima, Ryoko Sakai, Eis uke Inoue, Masay oshi Harigai | Geographic variations in rheumatoid arthriti s treatment in Japan: A nationwide retrospec tive study using the n ational database of he alth insurance claims and specific health ch eckups of Japan | Modern Rheumatology | Online ahead of print | | 2021 |

| | | | | | |
|--|---|-----------------------------|------------------------|----------|------|
| Suzuki M, Kojima T, Takahashi N, Asai S, Terabe K, Kaneko A, Hirano Y, Hanabayashi M, Oguchi T, Takagi H et al. | Higher doses of methotrexate associated with discontinuation of oral glucocorticoids after initiation of biological DMARDs: A retrospective observational study based on data from a Japanese multicenter registry study. | Modern rheumatology | Online ahead of print. | 1-12 | 2021 |
| Tokunaga T, Hashimoto H, Yoshida Y, Sugimoto T, Mokuda S, Kosaka Y, Shimizu R, Hirata S, Kumagai T, Komoto K, Wada H, Sugiyama E. | Immunoglobulin D-kappa multiple myeloma in a patient with rheumatoid arthritis: a case report and review of the literature | Mod Rheumatol Case Rep | 5(1) | 22-28 | 2021 |
| Yamazaki S, Shimbo A, Akutsu A, Takase H, Morio T, Mori M. | Importance of pediatric rheumatologists and transitional care for juvenile idiopathic arthritis-associated uveitis: a retrospective series of 9 cases. | Pediatr Rheumatol Online J. | 18(1) | 26 | 2020 |
| Minamino H, Katsushima M, Yoshida T, Hashimoto M, Fujita Y, Shitayama M, Yamamoto W, Murakami K, Murata K, Nishitani K, Tanaka M, Ito H, Inagaki N, Matsuda S. | Increased circulating adiponectin is an independent disease activity marker in patients with rheumatoid arthritis: A cross-sectional study using the KURAMA database. | PloS one | 15(3) | e0229998 | 2020 |
| Ohtsuki T, Hatipoglu OF, Asano K, Inagaki J, Nishida K, Hirohata S | Induction of CEMIP in chondrocytes by inflammatory cytokines: underlying mechanisms and potential involvement in osteoarthritis | Int J Mol Sci | 21(9) | 3140 | 2020 |

| | | | | | |
|--|---|---------------------|------------------------|-----------|------|
| Winthrop KL, Harigai M, Genovese MC, Lindsey S, Takeuchi T, Fleischmann R, Bradley JD, Byers NL, Hyslop DL, Issa M, Nishikawa A, Rooney TP, Witt S, Dickson CL, Smolen JS, Dougados M. | Infections in baricitinib clinical trials for patients with active rheumatoid arthritis. | Ann Rheum Dis. | 79(10) | 1290-1297 | 2020 |
| Murakami I, Murakami K, Hashimoto M, Tanaka M, Ito H, Fujii T, Torii M, Ikeda K, Kuwabara A, Tanaka K, Yoshida A, Akizuki S, Nakashima R, Yoshifuji H, Ohmura K, Usui T, Morita S, Mimori T. | Intake frequency of vegetables or seafoods negatively correlates with disease activity of rheumatoid arthritis. | PloS one | 15(2) | e0228852 | 2020 |
| Igarashi T, Takei S, Tanaka E, Kaneo U, Kubota T, Okamoto K, Ohshima S, Mori M. | Investigation of dual-energy X-ray absorptiometry units necessary for pediatric rheumatologists in Japan and a proposal for shared access to equipment among hospitals. | J Nippon Med Sch. | Online ahead of print. | | 2020 |
| Kobayashi S, Inui A, Tsunoda T, Umetsu S, Sogata T, Mori M, Shinkai M, Fujisawa T. | Liver cirrhosis in a child associated with Castleman's disease: A case report. | World J Clin Cases. | 8(9) | 1656-1665 | 2020 |
| Mori T, Saburi M, Hagihara M, Mori M, Yamazaki R, kato J. | Long-term remission of cryopyrin-associated periodic syndrome after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation. | Ann Rheum Dis. | Online ahead of print. | | 2020 |

| | | | | | |
|---|--|---|-------------------------------|---------------|-------------|
| <p>Tsuji H, Nakashima R, Hosono Y, Imura Y, Yagita M, Yoshifuji H, Hirata S, Nojima T, Sugiyama E, Hatta K, Taguchi Y, Katayama M, Tanizawa K, Handa T, Uozumi R, Akizuki S, Murakami K, Hashimoto M, Tanaka M, Ohmura K, Mimori T.</p> | <p>Multicenter Prospective Study of the Efficacy and Safety of Combined Immunosuppressive Therapy With High-Dose Glucocorticoid, Tacrolimus, and Cyclophosphamide in Interstitial Lung Diseases Accompanied by Anti-Melanoma Differentiation-Associated Gene 5-Positive Dermatomyositis.</p> | <p>Arthritis & Rheumatology (Hoboken, NJ)</p> | <p>72 (3)</p> | <p>488-98</p> | <p>2020</p> |
| <p>Saito R, Tanaka M, Ito H, Kuraoto N, Fuji T, Saito S, Kaneko Y, Nakano K, Saito K, Takada H, Sugimoto N, Sasaki S, Harigai M, Suzuki Y</p> | <p>Overall survival and post-spontaneous regression relapse-free survival of patients with lymphoproliferative disorders associated with rheumatoid arthritis: a multi-center retrospective cohort study</p> | <p>Mod Rheumatol</p> | <p>Online ahead of print</p> | <p>1-16.</p> | <p>2021</p> |
| <p>Sobue Y, Kojima M, Kojima T, Ito H, Nishida K, Matsushita I, Hirata S, Kaneko Y, Kishimoto M, Kohno M, Murashima A, Morinobu A, Mori M, Nakayama T, Sugihara T, Seto Y, Tanaka E, Hasegawa M, Kawahito Y, Harigai M.</p> | <p>Patient satisfaction with total joint replacement surgery for rheumatoid arthritis: a questionnaire survey for the 2020 update of the Japan college of rheumatology clinical practice guidelines</p> | <p>Mod Rheumatol</p> | <p>Online ahead of print.</p> | | <p>2021</p> |

| | | | | | |
|---|---|--------------------------|------------------------------|-----------|------|
| Masayo Kojima , Mieko Hasegawa , Shintaro Hirata , Hiromu Ito , Yuko Kaneko , Mi tsumasa Kishimoto , Masataka Koh no , Toshihisa Ke ojima , Isao Mat sushita , Masaak i Mori, Akio Mor inobu, Atsuko Mu rashima, Keiichi ro Nishida, Yohe i Seto, Yasumori Sobue, Takahiko Sugihara, Eiich i Tanaka, Takeo Nakayama, Yutaka Kawahito, Masayo shi Harigai. | Patients' perspectives of rheumatoid arthrit is treatment: a questi onnaire survey for the 2020 update of the Ja pan College of Rheumat ology clinical practic e guidelines. | Mod Rheumatol. | Online ahead of print. | | 2021 |
| Asai S, Takahash i N, Terabe K, Ste obue Y, Nishiume T, Suzuki M, Yo kota Y, Ishiguro N, Kojima T. | Periarticular osteophy te formation protects against total knee art hroplasty in rheumatoi d arthritis patients w ith advanced joint dam age. | Clinical rheumatology | 39(11) | 3331-3339 | 2020 |
| Tsuji H, Hashimo to M, Harada T, Tanaka M, Ito H, Murakami K, Ohm ura K, Fujii T, Mimori T. | Persistent anemia and hypoalbuminemia in rhe umatoid arthritis pati ents with low serum tr iiodothyronine level. | Modern rheumatology | 30(4) | 640-7 | 2020 |
| Suzuki Y, Hirose T, Sugiyama N, Nomura K, Campo s-Alberto E | Post-marketing surveil lance of high-dose met hotrexate (>8mg/ wee k) in Japanese patient s with rheumatoid arth ritis: A post hoc suba nalysis of Patients ac cording to duration of prior methotrexate use | Mod Rheumatol | Online ahead of print | | 2020 |
| Ishigooka N, Fuj ii T, Abe H, Mur akami K, Nakashi ma R, Hashimoto M, Yoshifuji H, Tanaka M, Ito H, Ohmura K, Morit a S, Mimori T. | Predicting factors for disappearance of anti mutated citrullinated vimentin antibodies i n sera of patients wit h rheumatoid arthriti s. Modern rheumatolog y. | Modern rheumatology | 30(3) | 450-7 | 2020 |

| | | | | | |
|--|--|--------------------------------|-------|-----------|------|
| Kato M, Kaneko Y, Tanaka Y, Inoue M, Kobayashi-Haraoka H, Amano K, Miyata M, Muraakawa Y, Yasuoka H, Hirata S, Nagasawa H, Tanaka E, Miyasaka N, Yamanaka H, Yamamoto K, Yokota I, Atsumi T, Takeuchi T. | Predictive value of serum amyloid A levels for requirement of concomitant methotrexate in tocilizumab initiation: A post hoc analysis of the SURPRISE study. | Mod Rheumatol | 30(3) | 442-449 | 2020 |
| Takahashi N, Asai S, Kobayakawa T, Kaneko A, Watanabe T, Kato T, Nishiume T, Ishikawa H, Yoshioka Y, Kanayama Y et al. | Predictors for clinical effectiveness of baricitinib in rheumatoid arthritis patients in routine clinical practice: data from a Japanese multicenter registry. | Scientific reports | 10(1) | 21907 | 2020 |
| Asai S, Takahashi N, Hayashi M, Hanabayashi M, Kanayama Y, Takemoto T, Yabe Y, Sekioura T, Ishikawa H, Yoshioka Y et al. | Predictors of disease flare after discontinuation of concomitant methotrexate in Japanese patients with rheumatoid arthritis treated with tocilizumab. | Joint bone spine | 87(6) | 596-602 | 2020 |
| Hayashi N, Uto K, Imanishi A, Sugiyama D, Morinobu A, Saegusa J. | Prevalence of anti-dense fine speckled antibodies in healthy individuals and patients with antinuclear antibody-associated autoimmune rheumatic diseases in Japan. | Medicine (Baltimore) | 100 | e24556 | 2021 |
| Itaya T, Torii M, Hashimoto M, Tanigawa K, Urayama Y, Kinoshita A, Nin K, Jindai K, Watanabe R, Memura K, Murakami K, Tanaka M, Ito H, Matsuda S, Morinobu A. | Prevalence of anxiety and depression in patients with rheumatoid arthritis before and during the COVID-19 pandemic. | Rheumatology (Oxford, England) | 60(4) | 2023-2024 | 2021 |

| | | | | | |
|--|--|----------------------------------|------------------------|-----------|------|
| Nakajima A, Sakai R, Inoue E, Harigai M. | Prevalence of patients with rheumatoid arthritis and age-stratified trends in clinical characteristics and treatment, based on the National Database of Health Insurance Claims and Specific Health Checkups of Japan. | Int J Rheum Dis. | 23(12) | 1676-1684 | 2020 |
| Tsuji H, Yoshifuji H, Shindo T, Hishizawa M, Ishida A, Fujimoto M, Kitagori K, Akizuki S, Murakami K, Nakashima R, Hashimoto M, Tanaka M, Ohmura K. | Primary hepatic lymphoma as other iatrogenic immunodeficiency-related lymphoproliferative disorders: a case report and review of the literature. | Modern rheumatology case reports | 5(1) | 172-7 | 2021 |
| Matsumoto T, Mori M. | Questionnaire survey on transitional care for patients with juvenile idiopathic arthritis (JIA) and families. | Mod Rheumatol. | Online ahead of print. | 1-6 | 2020 |
| Tanaka E, Mori M. | Refractory secondary thrombotic microangiopathy with kidney injury associated with systemic lupus erythematosus in a pediatric patient: a case report. | CEN Case Rep | 9(4) | 301-307 | 2020 |
| Sobue Y, Kojima T, Funahashi K, Okui N, Takahashi N, Asai S, Terabe K, Nishiume T, Suzuki M, Yokota Y et al | Relationship between disease activity of rheumatoid arthritis and development of locomotive syndrome: A five-year longitudinal cohort study. | Modern rheumatology | 31(1) | 101-107 | 2021 |
| Tanaka Y, Kameda H, Saito K, Kaneko Y, Tanaka E, Yasuda S, Tamura N, Fujio K, Fujii T, Kojima T, Anzai T, Hamada C, Fujino Y, Matsuda S, and Kohsaka H | Response to tocilizumab and work productivity in patients with rheumatoid arthritis: 2-year followup of FIRST ACT-SC study | Mod Rheumatol | 31(1) | 42-52 | 2020 |

| | | | | | |
|--|--|----------------------------------|--------|-----------|------|
| Kaneshita S, Kida T, Yokota I, Nagahara H, Takahiro Seno T, Wada M, Kohno M, Kawahito Y | Risk Factors for cytomegalovirus disease with cytomegalovirus reactivation in patients with rheumatic disease. | Mod Rheumatol. | 30(1) | 109-115 | 2020 |
| Okita S, Ishikawa H, Abe A, Ito S, Nakazono K, Murasawa A, Nishida K, Ozaki T. | Risk factors of postoperative delayed wound healing in patients with rheumatoid arthritis treated with a biological agent | Modern Rheumatol | 31(3) | 587-592 | 2020 |
| Harigai M, Honda S. | Selectivity of Janus Kinase Inhibitors in Rheumatoid Arthritis and Other Immune-Mediated Inflammatory Diseases: Is Expectation the Root of All Headache? | Drugs. | 80(12) | 1183-1201 | 2020 |
| Yukawa K, Mokuda S, Kohno H, Oikawa K, Kuranobu T, Terakunaga T, Yoshida Y, Yamana J, Iwahashi M, Hirata S, Yamana S, Sugiyama E. | Serum CXCL10 levels are associated with better responses to abatacept treatment of rheumatoid arthritis | Clin Exp Rheumatol | 38(5) | 956-963. | 2020 |
| Tetsunaga T, Tetsunaga T, Nishida K, Misawa H, Takigawa T, Yamane K, Tsuji H, Takai Y, Ozaki T | Short-term outcomes of gabapentin in patients with peripheral neuropathic pain: a retrospective study | J Orthop Surg Res | 15(1) | 191 | 2020 |
| Okahata A, Ito H, Furu M, Ishikawa M, Fujii T, Hashimoto M, Tanaka M, Morita Y, Azukizawa M, Tomizawa T, Doi K, Nishitani K, Murata K, Yoshitomi H, Mimori T, Matsuda S. | Soluble Lectin-like Oxidized Low-Density Lipoprotein Receptor 1 Predicts the Changes of Rheumatoid Factor Titers in Rheumatoid Arthritis. | Journal of clinical rheumatology | 26(7) | 295-300 | 2020 |

| | | | | | |
|---|---|---------------------|------------------------|--------|------|
| Ochiai M, Tanaka E, Sato E, Inoue E, Abe M, Sakai K, Sugano E, Sugitani N, Higuchi Y, Yamaguchi R, Sugimoto N, Ikari K, Nakajima A, Yamanaka H, Harigai M. | Successful discontinuation of biological disease-modifying antirheumatic drugs in patients with rheumatoid arthritis in real-world settings. | Mod Rheumatol. | Online ahead of print. | | 2021 |
| Tanaka Y, Oba K, Koike T, Miyasaka N, Mimori T, Takeuchi T, Hirayama S, Tanaka E, Yasuoka H, Kaneko Y, Murakami K, Koga T, Nakano K, Amano K, Ushiro K, Atsumi T, Inoue M, Hatta K, Mizuki S, Nagaoka S, Tsunoda S, Dobashi H, Horie N, Sato N. | Sustained discontinuation of infliximab with a raising-dose strategy after obtaining remission in patients with rheumatoid arthritis: the RRRR study, a randomised controlled trial. | Ann Rheum Dis | 79(1) | 94-102 | 2020 |
| Tanaka E, Kawahito Y, Kohno M, Hirata S, Kishimoto M, Kaneko Y, Tamai H, Seto Y, Morinobu A, Sugihara T, Murashima A, Kojima M, Mori M, Ito H, Kojima T, Sobue Y, Nishida K, Matsushita I, Nakayama T, Yamanaka H, Harigai M. | Systematic review and meta-analysis of biosimilar for the treatment of rheumatoid arthritis informing the 2020 update of the Japan College of Rheumatology clinical practice guidelines for the management of rheumatoid arthritis. | Modern Rheumatology | 2021 Mar 12 | 1-27 | 2021 |

| | | | | | |
|--|--|--------------------------------|------------------------------|--------|------|
| Takahiko Sugihar a, Yutaka Kawahi to, Akio Morinob u, Yuko Kaneko, Yohei Seto, Tosh ihisa Kojima, Hi romu Ito, Masata ka Kohno, Takeo Nakayama, Yasumo ri Sobue, Keiich iro Nishida, Isa o Matsushita, At suko Murashima, Masaaki Mori, Ei ichi Tanaka, Shi ntaro Hirata, Mi tsumasa Kishimot o, Hisashi Yaman aka, Masayo Koji ma, Masayoshi Ha rigai | Systematic review for the treatment of older rheumatoid arthritis patients informing the 2020 update of the Ja pan College of Rheumat ology clinical practic e guidelines for the m anagement of rheumatoi d arthritis | Mod Rheumatol. | Online ahead of print | | 2021 |
| Hirata S, Kohno H, Watanabe H, Tu okunaga T, Yoshi da Y, Sugimoto T, Mokuda S, Oda K, Nojima T, Su giyama E. | Tapering and discontin uation of oral glucoco rticoids without deter ioration of disease st atus in patients with rheumatoid arthritis u nder a stable treatmen t | Mod Rheumatol | Online ahead of print. | | 2021 |
| Murata K, Hashim oto M, Yamamoto W, Son Y, Amuro H, Nagai K, Take uchi T, Katayama M, Maeda Y, Ebi na K, Hara R, Ji nno S, Onishi A, Murakami K, Tan aka M, Ito H, Mi mori T, Matsuda S. | The family history of rheumatoid arthritis i n anti-cyclic citrulli nated peptide antibody -positive patient is n ot a predictor of poor clinical presentation and treatment respons e with modern classifi cation criteria and tr eatment strategy: the ANSWER cohort study. | Rheumatology international | 40(2) | 217-25 | 2020 |
| Shimizu M , Mizu ta M, Okamoto N, Yasumi T, Iwata N, Umebayashi H, Okura Y, Kinj o N, Kubota T, N akagishi Y, Nish imura K, Mohri M, Yashiro M, Ya sumura J, Wakigu chi H and Mori M. | Tocilizumab modifies c linical and laboratory features of macrophag e activation syndrome complicating systemic juvenile idiopathic ar thritis. | Pediatr Rheumatol Online J. | 18(1) | 2 | 2020 |

| | | | | | |
|--|--|-----------------------------|-----------------------|------------|------|
| Nakano K, Tanaka Y, Saito K, Kaneko Y, Saito S, Tanaka M, Saito R, Fuji T, Kuramoto N, Sugimoto N, Takada H, Harigai M, Sasaki S, Suzuki Y | Treatment of rheumatoid arthritis after regression of lymphoproliferative disorders in patients treated with methotrexate: a retrospective, multi-center descriptive study | Mod Rheumatol | Online ahead of print | | 2020 |
| Lau CS, Chia F, Dans L, Harrison A, Hsieh TY, Jain R, Jung SM, Kishimoto M, et al | Update of the APLAR recommendations for treatment of rheumatoid arthritis. | Int J Rheum Dis | 22(3) | 357-375 | 2019 |
| Iwata N, Tomiita M, Kobayashi I, Inoue Y, Nonaka Y, Okamoto N, Umebayashi H, Hara R, Ito Y, Sato Y, Mori M. | Utility of the EULAR Sjögren syndrome disease activity index in Japanese children: A retrospective multicenter cohort study. | Pediatr Rheumatol Online J. | 18(1) | 73 | 2020 |
| Mori M. | What are the main revised points in the 6th diagnostic guidelines for Kawasaki disease? | Pediatr Int. | 62(10) | 1133-1134. | 2020 |
| 藤井隆夫 | ウイルス媒介関節炎 | 日本医師会雑誌 | 149 | S321-S323 | 2020 |
| 西田圭一郎、宮澤慎一 | 炎症と運動器疼痛 | Bone Joint Nerve | 10(4) | 529-534 | 2021 |
| 川人 豊 | ゲノム医療と分子標的治療の最新情報 -関節リウマチ- | 臨床と研究 | 97(4) | 425-430 | 2020 |
| 鉄永倫子、鉄永智紀、西田圭一郎 | 疼痛の集学的治療 | Bone Joint Nerve | 10(4) | 643-650 | 2021 |
| 西田圭一郎 | リウマチ整形外科手術のいま | リウマチ看護サポートマガジン RA ナーシング | | 1-6 | 2020 |
| 西田圭一郎 | リウマチ整形外科手術のこれから～患者さんの満足度向上をめざして～ | リウマチ看護サポートマガジン RA ナーシング | | 7-9 | 2020 |

| | | | | | |
|---------------------------|---|-------------------------|-------|-----------|------|
| 藤井隆夫 | 関節リウマチにおけるウパダシチニブの有効性と安全性 | リウマチ科 | 63 | 449-455 | 2020 |
| 松下 功 | 関節リウマチの疫学・診断・診療ガイドライン | Jap Journal Rehab Med | 57 | 1005-10 | 2020 |
| 西田圭一郎 | 関節リウマチ診療における見逃し・誤診. 誤診と見逃しを防ぐ | 関節外科 | 39 | 132-140 | 2020 |
| 藤井隆夫 | 関節リウマチ診療における自己抗体の臨床的意義 | Pharma Medica | 39 | 13-17 | 2021 |
| 森 雅亮. | 公的支援制度. 免疫・炎症疾患のすべて. | 日本医師会雑誌 | 149 | S357-361 | 2020 |
| 森 雅亮. | 治療法の再整理とアップデートのために 専門家による私の治療ー若年性特発性関節炎ー. | 日本医事新報 | 5047 | 42-43. | 2021 |
| 小橋靖子、西田圭一郎 | 周術期の看護のポイント | リウマチ看護サポートマガジン RA ナーシング | | 10-13 | 2020 |
| 植田真司、井上真一郎、西田圭一郎 | 処方エキスパートへの道. 高齢者の睡眠薬の使い方 | Loco cure | 6 | 258-260 | 2020 |
| 森 雅亮. | 小児リウマチ性疾患の最近のトピック2020. | 小児科臨床 | 73 | 1253-1262 | 2020 |
| 森 雅亮. | 小児重症病態治療におけるアフェレシス治療の位置づけ. 難治性川崎病. | 日本アフェレシス学会雑誌 | 39 | 154-159 | 2020 |
| 横田俊平、名古屋実、金田宜子、土田博和、森 雅亮. | 新型コロナウイルス感染症(SARS-CoV-2)と小児: 新生児から思春期まで~抗リウマチ薬治療下にある小児リウマチ性疾患児は治療変更が必要か~. | 臨床リウマチ | 32(2) | 98-107 | 2020 |
| 松下 功 | 診療ガイドライン作成におけるGRADEシステム | Clin Rheumatol Rel Res | 32 | 177-80 | 2020 |

| | | | | | |
|------------|--|----------------------------------|--------|---------|------|
| 西田圭一郎 | 整形外科からみたtreat to target 一何を重視するかー | 整形・災害外科 | 64 | 131-140 | 2020 |
| 森 雅亮. | 特集 “顔の赤み”鑑別・治療アトラス. 小児・顔の赤み① -小児発症全身性エリテマトーデス- | Derma | 294 | 213-218 | 2020 |
| 森 雅亮. | 特集 “顔の赤み”鑑別・治療アトラス. 小児・顔の赤み② -若年性皮膚筋炎- | Derma. | 294 | 219-224 | 2020 |
| 毛利万里子、森雅亮. | 特集 思い込みにご用心！小児科診療ピットフォール. 発熱が持続する小児に対する診療のピットフォール. | Modern Physician | 40 | 24-37 | 2020 |
| 森 雅亮. | 特集 難病を取り巻く様々な環境. 指定難病制度の現状について. | 難病と在宅ケア | 26 | 5-9 | 2020 |
| 森 雅亮. | 特集 免疫難病における小児から成人へのtransitionの課題と対策. 若年性特発性関節炎 vs. 関節リウマチ. | 炎症と免疫 | 28 | 32-37 | 2020 |
| 川人 豊 | 病態に基づいた治療戦略 -関節リウマチ- | Current Therapy | 38 (5) | 8月13日 | 2020 |
| 宮澤慎一、西田圭一郎 | 変形性関節症. 骨・関節・カルシウム代謝疾患. 2. 免疫・炎症・アレルギーおよび骨・関節の病気とくすり | 病気とくすり 2020 基礎と実践 Expert's Guide | 71 | 328-338 | 2020 |